



報 窓 同 工 會

2013

校 歌

嶺は秀づる磐梯山
水は湛うる猪苗代
これぞ乾坤香霊の
精気鍾り成る処

明治三十七春なかば
礎堅くきずかれて
星霜ここに幾かえり
平和の覇者を育みぬ

身には白虎の粹を享け
鶴を徽章に雄々しくも
至誠勤勞一すじに
進む健児の意気高し

峙つ嶺は峻しくも
寄せ来る浪は高くとも
これ奮闘の活舞台
これぞ我等の天地なる

作詞 吉田智 山村彌久馬
作曲 新潟師範学校

同窓会の皆様お変わりありませんか、昨年は学校創立110周年、記念式典祝賀会を催し、同時に会工祭も開催され祝賀会は同窓会総会懇親会と合わせて行い来賓・同窓生・PTA・学校教職員総勢110人の大祝賀会になりました。更に、同窓生より初めてのオリンピックピック出場選手が誕生しました。2012年ロンドンオリンピックピックボクシングフライ級へ平成15年度化学工学科卒の須佐勝明君が日本代表選手として出場、学校はもとより地元も多いに盛り上がりました。同窓生の皆様には須佐選手への奨励金を協賛頂きましてありがとうございました。また、3年前当時の手代木会長と同窓会役員が地元選出の県会議員の方々に機械科実習棟の現状を視察して頂き改築の要望を申し上げた結果本年改築工事が行われており12月末には完成します。松江春次氏が昭和14年に33万円という大金を寄付して下さり、県内で初めての機械科が誕生し、その時に機械実習用の工作機械8台を購入設置しましたが現在では殆ど使用されず、又福島県では改築の際全てがスクラップ処分することとで学校・機械科OBの機友会と再三に亘り話し合い、松江春次翁の遺品とし



『会報2013発刊にあたって』

同窓会 会長 若狹 春生

(昭和38年卒業科卒)

て工作機械を残そうと言うことになりました。昨年の同窓会総会にて同窓会が中心になり工作機械3台を保存し松江春次翁に係わる品を展示保存する「松江春次記念館」を建築することとなり8月より工事し、10月15日に完成致しました。今回の建築には寄付金を同窓生・PTA・新旧学校教職員・一般企業等多くの方々に協力いただきました。ご協力ありがとうございました。

最後になりましたがNHK大河ドラマ「八重の桜」は大反響で会津には多くの観光客がお出でになりました。会津人の生真面目・実直・忠義心を私の友人も称えてくれています。「戊辰の役で会津戦争が無かつたら今の会津とはもっと違った会津だっただろうな」とも話してくれました。2年8ヶ月前の東日本大震災・東京電力福島原発の事故・放射能による避難生活・風評被害などマイナスな事々が多かったです。同窓生の皆様には何事にも会工健児の意気を發揮して前進し、そして健康に留意され今後も素晴らしい会津と会津工業高校を思いつつ同窓会活動にご協力下さいますことをお願いしまして会報発刊の挨拶とさせていただきます。

平成25年10月

平成25年度 福島県立会津工業高等学校同窓会収入支出決算書

(自 平成24年10月1日～平成25年9月30日現在)

収入総額 4,412,178円
支出総額 2,899,468円
差引残額 1,512,710円

◎収入の部 (単位:円)

費目	予算額(A)	決算額(B)	(B)-(A) 増減	摘要
繰越金	1,481,602	1,481,602	0	前年度の繰越金
入会金	2,800,000	2,390,000	-410,000	新入生 (239名×10,000円)
協力金	700,000	505,109	-194,891	会報2012協力金 (663件分)、サラト経費 (810,000円)を除く
総会費	500,000	0	-500,000	会費・御祝儀
雑収入	18,398	35,467	17,069	
合計	5,500,000	4,412,178	-1,087,822	

◎支出の部 (単位:円)

費目	予算額(A)	決算額(B)	(B)-(A) 増減	摘要
総会費	900,000	272,500	-627,500	総会関係経費
会議費	500,000	716,234	216,234	各支部総会時の御祝儀、役員会
旅費	450,000	532,685	82,685	各支部総会時の旅費
事業費	800,000	716,584	-83,416	広告代、各支部助成、松江顕彰会助成
卒業記念費	150,000	150,800	800	(校歌、応援歌、会工賛歌) CD代
体育文化振興会助成	100,000	100,000	0	体育文化振興会助成
慶弔費	50,000	20,000	-30,000	香典、弔電、花環代
消耗品費	100,000	48,297	-51,703	コピー用紙、他
印刷費	400,000	0	-400,000	
通信費	100,000	156,998	56,998	はがき代、電話代
事務費	200,000	85,370	-114,630	コピーカウンター料、再リース料
基金・積立	100,000	100,000	0	
予備費	1,650,000	0	-1,650,000	
合計	5,500,000	2,899,468	-2,600,532	

※収入総額4,412,178円-支出総額2,899,468円=差引残額1,512,710円は次年度に繰越し致します。

平成26年度 福島県立会津工業高等学校同窓会収入支出予算書(案)

(自 平成25年10月1日～至 平成26年9月30日)

収入総額 5,120,000円
支出総額 5,120,000円
差引残額 0円

◎収入の部 (単位:円)

費目	予算額(A)	前年度予算額(B)	(A)-(B) 増減	摘要
繰越金	1,512,710	1,481,602	31,108	前年度の繰越金
入会金	2,400,000	2,800,000	-400,000	新入生 (240名×10,000円)
協力金	700,000	700,000	0	会報2013の協力金
総会費	500,000	500,000	0	祝賀会、総会、会費等の収入
雑収入	7,290	18,398	-11,108	
合計	5,120,000	5,500,000	-380,000	

◎支出の部 (単位:円)

費目	予算額(A)	前年度予算額(B)	(A)-(B) 増減	摘要
総会費	500,000	900,000	-400,000	総会関係経費
会議費	700,000	500,000	200,000	各支部総会時の御祝儀、役員会
旅費	500,000	450,000	50,000	各支部総会時の旅費
事業費	800,000	800,000	0	広告代、各支部、松江顕彰会助成
卒業記念費	150,000	150,000	0	(校歌、応援歌、会工賛歌) CD代
体育文化振興会助成	100,000	100,000	0	体育文化振興会助成
慶弔費	50,000	50,000	0	香典、弔電、花環代
消耗品費	70,000	100,000	-30,000	事務用品、その他
印刷費	400,000	400,000	0	会報印刷代 (7000部)
通信費	150,000	100,000	50,000	切手代、電話代
事務費	100,000	200,000	-100,000	コピーカウンター料、他
基金・積立	100,000	100,000	0	定期預金
予備費	1,500,000	1,650,000	-150,000	
合計	5,120,000	5,500,000	-380,000	

付帯決議 科目間の流用については会長に一任する。

監査報告について

平成25年10月3日 歳入簿・現金出納簿・預金通帳および支出調書等関係書類を調査照合の結果、適正に執行されている事を認めましたので報告いたします。

平成25年10月19日

監事 西村 一夫
監事 坂本 義男
監事 関場 一宏

福島県立会津工業高等学校同窓会 会長 若狹 春生 殿

各支部への助成

東京…………… 10万
近畿…………… 5万
東海…………… 5万
若松…………… 5万
福島…………… 3万
日立…………… 2万
郡山…………… 3万
猪苗代…………… 3万
坂下…………… 3万
いわき…………… 3万
西会津…………… 3万
湯川…………… 3万
会津美里…………… 3万
建友会…………… 2万
会工電友会…………… 2万
機友会…………… 2万
セラ友会…………… 2万
会工美修会…………… 2万

同窓会総会



関連記事

同窓会事業報告(2012.10～2013.9)

▷平成24年

10月5日 会計監査
10月11日 第10回三役会議
10月12日 第4回役員会
10月18日 第11回三役会議
10月19日 電友会総会
10月20日 創立110周年記念式典
10月20日 創立110周年祝賀会、同窓会総会
10月20日 若松会工会総会
10月27日 会津美里会工会総会
11月10日 吹奏楽部定期演奏会
11月21日 猪苗代会工会総会
12月7日 第1回三役会議
12月12日 110周年実行委員会(総括)

▷平成25年

1月17日 第2回三役会議
1月19日 第1回役員会 新年会
2月15日 第3回三役会議
2月18日 H24年度プロジェクト事業発表会
2月23日 建友会総会
2月28日 同窓会入会式
3月1日 会工卒業式
3月23日 会工職員クラブ送別会
3月29日 第4回三役会議
4月5日 会工職員クラブ歓迎会
4月8日 会工入学式
4月12日 創立記念講話
4月16日 第5回三役会議
4月26日 第2回役員会 観桜会
4月26日 松江春次記念館建設事業実行委員会設立

5月18日 郡山会工会総会
6月1日 近畿会工会総会
6月2日 東海会工会総会
6月11日 第6回三役会議
6月15日 東京会工会総会

6月17日 第1回会報編集委員会
6月20日 第7回三役会議
6月26日 第1回松江春次記念館建設事業実行委員会
6月29日 会工美修会総会
7月6日 機友会総会
7月8日 第8回三役会議
7月10日 松江春次実行委員会資金部会
7月19日 第2回会報編集委員会
7月20日 セラ友会総会
7月30日 第9回三役会議
8月2日 松江春次実行委員会資金部会
8月7日 第10回三役会議
8月8日 松江春次実行委員会資金部会
8月19日 第11回三役会議
8月20日 第3回会報編集委員会
9月2日 坂下会工会総会
9月10日 第12回三役会議
9月14日 福島会工会総会
9月20日 第4回会報編集委員会
9月26日 第13回三役会議
9月29日 いわき会工会設立総会



役員改選について

顧問	吉田 一栄	
会長	若狭 春生	留任
筆頭副会長	藤田 晴史	留任
副会長	田中 健一	留任
副会長	栗城 和夫	新任
幹事長	木村 洋一	留任
副幹事長	荒川 富士雄	留任
副幹事長	浅田 誠	留任
副幹事長	佐藤 満	留任

※総会承認外の本部役員体制は本誌52ページ掲載。

松江春次顕彰会会長 吉田一栄氏退任



長年、会長を務められました吉田一栄氏が同窓会総会を以て退任されました。
大変ご苦勞様でした。

感謝状贈呈



猪苗代会工会前会長 菅沼淳一氏、会津美里会工会前会長 横山嘉夫氏に総会において、若狭会長より感謝状が贈呈されました。



百十周年のご協力に感謝して

校長 根本 和次

会工同窓会会員の皆様、昨年度の百十周年記念式典にはご協力を頂き感謝申しあげます。お陰様で、立派な式典を挙行し、関連行事も成功裏に終了することが出来ました。特に、生徒の校歌や会工賛歌の立派な歌声は同窓生の思いが通じ最高の感動でありました。来賓のお客様からの称賛の言葉も数多く頂くことが出来ました。誠に喜ばしいことであります。式典後の祝賀会も、同窓会を中心に企画運営をしていただき、皆さんに喜んでいただくことが出来ました。誠にありがとうございます。また、記念事業として、記念誌「会工賛歌」輝け鶴翔の連なり」を編集し立派な記録として完成したことは、編集委員並びに原稿を寄せていただいた皆様のお陰と改めて感謝を申しあげたいと思います。

ところで、ここ会津の地も東日本大震災の影響で、放射能の風評被害で観光や経済の落ち込みが深刻となっておりますが、大河ドラマ「八重の桜」のお陰

で観光客も増加し、活気が戻って参りました。市内では大型バスが沢山訪れ、渋滞が発生するような状況となっており嬉しい悲鳴が聞こえております。

それでは、現在の学校の様子を紹介しておきたいと思ひます。今年度の本校の入学定員は、建築インテリ、ア科一学級、セラミック化学科一学級、機械科二学級、電気科一学級、情報技術科一学級の五学科六学級となっております。全校生で七百四十九名であります。現在、老朽化した機械科の実習棟が取り壊され、新築の工事が進められており、新しい実習棟が十二月末に完成予定であります。新しい実習棟の完成が楽しみです。

結びに、伝統と実績を誇る「会工」の同窓生の皆様には、母校を愛する気持ちを強く感じ、心強く思っております。今後とも母校並びに後輩のためにご支援を頂きますようお願い申しあげ挨拶とさせていただきます。

←昭和 35 年の校舎



現在の校舎→



松江春次翁の偉業を讃えて

松江春次記念館建設事業実行委員会

松江春次記念館建設に至る経緯

本校機械科の実習棟は、耐震診断の結果「Dランク」となり、立て替えが必要となった。教育庁施設財産室と協議した結果、新たな建物は既存建物より面積的に小さくせざるを得なくなった。そのため、現在保有している設備すべてをそのまま新しい建物に移行することはできないので、使用していない松江春次翁寄贈の8台の工作機械は廃棄せざるを得ない状況になった。ただ、当該の旋盤等は、松江春次翁の巨額の私財により寄贈され、機械科発足の基になったものであり、その偉業を後世に伝えていくためにも、どうか保存できないかという声が起こり、県立博物館など、校外も視野に入れて保存に向けた検討を行うこととした。しかし、県立博物館や白虎記念館とも交渉したが、保存困難との回答を得たため、廃棄やむなしという状況になってしまった。そのため、機友会（栗城和夫会長）が中心となり佐藤県知事、斎藤県議会議長、杉教育長、遠藤自民党県連会長の4氏宛てに残置のための陳情書を提出したが、県では予算措置はできないとの回答であった。その結果、平成24年の10月に同窓会（若狭春生会長）が中心となり多方面より募金を集め、旋盤3台を保存する記念館を建設することが正式に決定された。

建設場所は、鶴翔会館の南側とし、一階平屋立てRC構造で6・0×5・0＝30㎡の面積に決まった。



松江春次
まつえ はるじ
1876-1954年

松江春次は、旧制会津中学第一回卒、苦学の末に東京工業学校（現東京工業大学）を卒業し、1899年に大日本精糖に入社する。1903年、ルイジアナ州立大学に留学、全米各地で精糖技術を学んで回り、帰国後日本で初めての角砂糖の開発に成功した。

第一次世界大戦後、南洋興発を創立し社長に就任、数多くの苦難を乗り越えてサイパン島での精糖事業に成功、のちに「南洋開発の父」と呼ばれる。また南洋興発の事業拡大とともに春次が力を注いだのが、南洋群島における教育と医療施設の充実である。島民の子どもが通う学校、会社独自の実務補習学校や家政学校を設立し、事業所には最新設備を備えた医務室を併設するなど、島の発展に貢献した。

なお1940年には、技術者の道を志す者たちの育成を目的に33万円（現在の貨幣価値に換算すると数億円）を若松に寄付、現在の会津工業高校機械科の新設に寄与している。

1934年、南洋開発の功績を称え、島民や社員らの寄付によって建てられた春次の銅像は第二次世界大戦の戦禍を免れ、いまなお祖国日本をみつめている。

旧制会津中学校時代には、聴講生だった野口英世とも親交を深めた春次。奇しくも今外国にある日本人の全身像は、不屈の精神と会津武士道の魂を宿した英世と春次の二人の銅像だけであるといわれている。

松江翁の機械科増設費寄付に就いて

南洋興発株式会社社長松江春次翁が、母校機械科増設費金額を寄附されたことは、其の額が参拾万円という我々津、否全県下として空前の巨額である点から言っても破天荒の義挙であり、百六十万県民の等しく驚嘆感激已まない所であるが、若し翁の此義挙を以て、単に其「額」の偉なる点にのみ謝意や敬意を表すものとせば、それは大なる間違いであり、折角の翁の尊い義挙の精神が無視される訳で、其衡に当たった我々として到底承知し得ないところである。だから私はこの機会に一体翁は(1)どんな状況の下に、(2)どんな気持ちで、この偉大なる義挙を執行されたかという当時の顛末を録して、世人の理解に資し度いと思う。

状況

元来、母校の機械科問題は、母校創立当時已に県当局に其の意あつたのだが、都合上他日増設と言う事になり、其後久しい間閉脚されていた処、先年井口校長時代に、初めて同窓会が電気科と機械科の増設問題を取り上げ、実現運動をした処、県の学務部でも共鳴し、機械科は参拾五六万円もかゝるので、十五万円位で出来る電気科のみの実現を先決問題としてやろうという事になり、昭和十一年度の県予算編成に、部として提案されてあつたが、経費の都合上削減され、翌年度に廻される事になった。

処がどうしたものか翌年の予算に出ないので、新校長高橋清章氏を迎えた同窓会では、再び猛運動を起す事になったが、其際高橋校長は、仙台高工機械科出身なので、電気科よりも機械科を目指してはどうかという事なので、会も之に賛し、唯電気科も予備的に併行運動をする事に決し、早速校長に図面や、見積り予算の作成を頼み、県当局、県会、市会など、各方面に運動を開始すると共に、私も昭和十三年の市会改選に再出馬して当選したので、市会や市当局の奮起を促した処、県では君島知事が頑張つて居つて

「五十万円も地許寄附を持つて来なければ機械科丈でも取り上げぬ」というので佐瀬市長や、岩崎県議などが八方奔走したが、松江春次氏と鈴木善九郎氏が各一万円宛寄附される事になって居る丈で、他に見当も付かぬ為投出して居った所だから、君が一つ市会を代表して寄附集めをやつてくれとの事、私も大金事故当惑し、再三固持したが、他に遣る人も無いので已むを得ず引き受けた。

其処で、私は此の五十万円の中、高橋校長の見積りに依つて機械科は二十五万円位で出来ると考えられたので、在京の会津出身成功者方面で松江翁五万、中野有禮氏五万、其の他で五万、計十五万、関西方面其他の郷党成功者方面で五万、会津の地許で五万という様な大体の見当を付け、其後二三ヶ月かゝつて夫等の人々の調査や、手蔓を物色しつつあつた処、幸いにも母校舊教頭の高橋喜一氏（現會電取締役）が松江翁と昔蔵前高工時代同窓として親交があられたというので同窓会から氏の協力を頼み、尚万一の場合、君島知事説得の都合上、元内務省社会局時代、知事の上司だった河原田稼吉氏を煩わそうという考えから、氏の義弟河原田盛雄君も同窓会として応援を頼む事として、一行三人、昭和十三年十月三十一日悲壮な決意の下に上京した。

そして先ず第一着に先輩瓜生喜三郎氏を訪ね、予め依頼して置いた在京会津会幹部諸氏との連絡を頼み、種々打合せをした処、幸い目下、松江翁が南洋から帰つて居られるが、非常に多忙な方だから第一着に伺つたらどうかという話なので、早速氏に電話で照会を伺つて翁を訪ねる事にした。勿論其時の一行の考えでは、翁からは前述した様に五万円でも三万円でも願得いれば結構だという希望以外の何も無かつた。以上の様な状況裡に我々は重大使命を以て松江翁に接したのであつた。

松江奨学会について

松江奨学会新設のとき

機械科新設基金のうち、別項のように23万円が5機械工場と実験室、製図室と大講堂、松江記念館などの建築費・設備品費として使われ、10万円が実業教育の振興、設備更新基金として振り分けられた。これが財団法人松江奨学会の基本資金となりこれから生ずる利子を持つて、機械類が時代遅れにならぬようにと、工業の基幹として本校の施設・設備の整備に万全を期すという配慮からであった。当時の利子4,000円は相当の金額で十分に活用できたものである。

昭和17年(1942)5月9日午前9時、松江記念館階上に初の理事会が開かれた。高橋校長より3月末の本財団の認可までの経過を報告の後に議事に入り、1、昭和16年度歳入歳出決算報告 2、昭和17年度歳入歳出予算審議 3、基金保管に関する件 4、職員委嘱任命の件 5、役員旅費支給規程の件 6、その他を論議し満場異論なくこれを承認し、次に役員を決めた。理事長に松江春次氏、理事には若松市長(欠員)、会津工業校長高橋清章氏、県学務部長堀内徳治氏、県学務課長藤田次郎氏、東京から町野武馬氏、澤金雄氏、松本章太氏の3氏、監事に大西幸馬氏、高橋喜一氏、幹事には吉田久一氏、山内岩記氏(磐水)、県属穴澤榮氏と学校から高橋榮氏と黒田廣治氏とが任命され上々のスタートを切った。

この日、講堂で全生徒に町野、澤、松本の3氏から有意義な講演があり、役員各氏は学校の現況を視察して午後3時に閉会した。翌日は校長が松江氏を本郷町に案内し、東北窯業本社と付属の各工場を視察した。この後、松江氏は若松市公会堂で開かれた会中同窓会臨時会に臨まれた。(江花光泰)

幻の松江賞

財団法人「松江奨学会」設立許可は昭和17年3月31日付。目的は「福島県立会津工業学校ヲ後援シ工業徒弟教育及實業教育の振興ヲ図ルニアル。」資産総額金10万円(松江氏の寄附金33万円の一部)。役員には松江氏遺族・同窓会・PTA・校長・教頭としてのが、歴代理事には横山武(市長)・鈴木善九郎(社長)・早川喜代次(弁護士)・新城猪之吉(社長)等、綺羅星の如く市内名士が並びこの会の重さが書類の上からも、ずしりと感じられる。事業計画は「優秀生徒の表彰」と記念品贈呈にあるのだが、戦前の記録は敗戦の時の命令によって焼却をうけ、戦後は空白の時代となり、かの松平家賞初め多くが混乱のため復元は難しい。同会の事業報告の一部にも「基本財産の利子僅少のため目的諸事業ができなかった」とあり、当時の事情を垣間見る思いがする。

昭和58年5月24日付で会工同窓会から学校創立80周年記念事業の一部として130万円の寄贈が松江奨学会にあり、その基本金が他と合わせて金150万円となり、その利子から10万円の支出が可能となり「松江賞」の授与と、記念品とを各工業学科卒業の最優秀生10名に贈呈された。翌年からは、新「鶴賞」として中央信託銀行からの信託収益金から同額を支出しているが、賞の名称変更については詳かでない。

これら以後は誰をも予想し得なかった超低金利政策となり、平成5年基本金166万円に対して利子5,810円。同11年では元金100万円に対して3千円という記載がある。記念品の当初は高級万年筆であったが、時代が移り、辞典類と変化していったようだが、それなりに支出に対する事務局の苦労が偲ばれる。松江奨学会の事業性格が、基本金の利子をもってあてるといことなので、現今では、当初の意図しているところとは随分遠ざかってはいるが、

今なお創設者松江春次氏の遺徳は当校機械科の発展と共に厳然併存している。

蛇足ながら旧鶴賞は、戦前にあつては、在校生であつても、一芸に秀でれば職員の推薦によつて授与され、学生服の左襟の鶴賞バッチ(俗に形の上からハト章)の着用が許され下級生からも羨望の的となつていた。

又、昭和12年(1937)5月9日の同窓会総会において永井年郎先生の遺徳をしのんで「永井奨学賞徳(篤)行賞」が満場一致可決され翌13年から実施、戦後昭和23年にも記録がある。本校での私的奨学金関係では、昭和42年創設専攻科デザイン科が昭和56年の廃科に至る間、初代鈴木善九郎氏の奨学の好意から毎月2,500円ずつ4名の生徒が受領していたことも付記する。(小滝彦市)

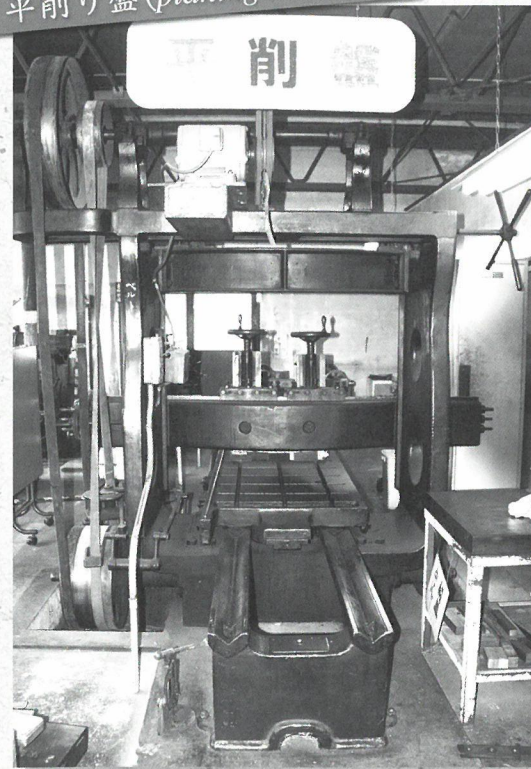
(百年史から抜粋)

松江春次氏略歴

明治9年1月 馬場五之町24番地に士族久平の二男として生まれる
明治32年7月 東京高等工業を卒業後直ぐ大日本製糖株式会社に就職入社して大阪工場勤務
明治36年9月 農商務省より海外実習練習を命ぜられ、又会社より海外遊学を命ぜられ、11月アメリカ合衆国へ遊学、研究の学徒としてルイジアナ大学に学ぶ
明治38年6月 マスターオブサイエンスの称号を卒業と同時に授けらる
明治38年7月 スプレックス製糖会社に入社し、1年後には角砂糖研究を遂げ、次いで米国各製糖地を見学研究し後欧州に渡る
明治40年11月 帰国後大日本製糖株式会社大阪工場長に就任
明治41年4月 日本最初の角砂糖の製造
大正6年10月 新高製糖株式会社の事業を5倍大に拡大して常任取締役役に就任し、台湾の事業一切を経営
大正11年1月 南洋興発株式会社の専務取締役に就任して、一切の経営を委ねられ、直ちにサイパン島に渡つて、新式砂糖工場の建設に着手
昭和14年7月 本校機械科設置のため33万円の基金を出資
昭和29年12月 東京小石川伝通院にて葬儀
昭和31年 故松江翁胸像除幕式

松江春次の寄付金により購入した工作機械

平削り盤(planing machine)



〈製造メーカー〉 上野鉄工所

〈大きさ等〉

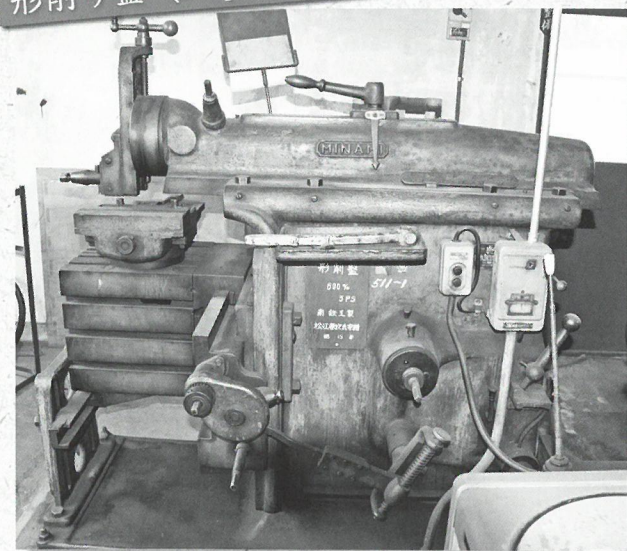
テーブル…巾2m×高さ3m×長さ4m

重量20トン

〈取得年月〉 昭和15年5月

テーブルに取り付けられて往復運動する工作物に、バイトをあてて平削り(planing)加工をする工作機械

形削り盤(shaping machine)



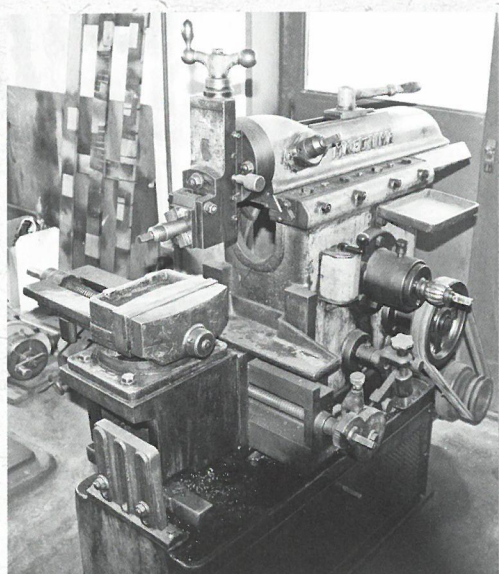
〈製造メーカー〉 南鉄工所

〈大きさ等〉 ストローク：500mm

〈出力〉 3PS

〈取得年月〉 昭和15年5月

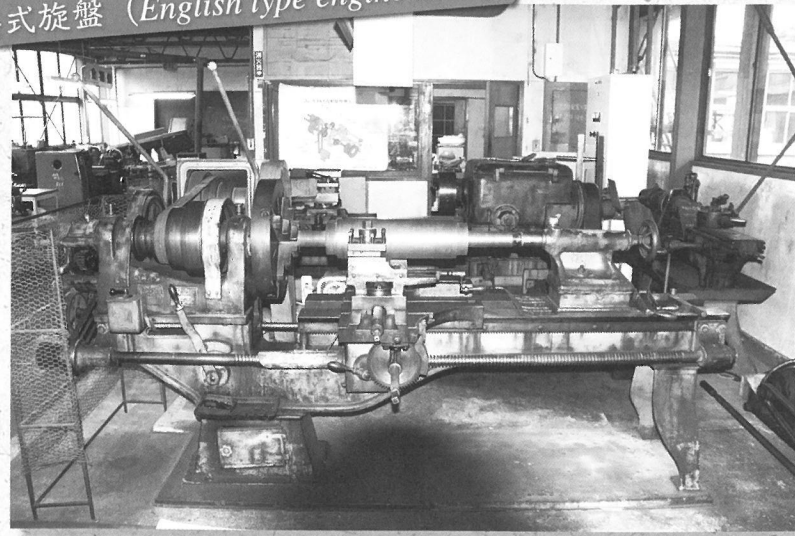
刃物が直接切削運動をし、工作物が直接送り運動で面を削る加工を形削り(shaping)という。形削り盤は、刃物が水平に切削運動して形削りする工作機械である。



〈製造メーカー〉 MAEJIMA

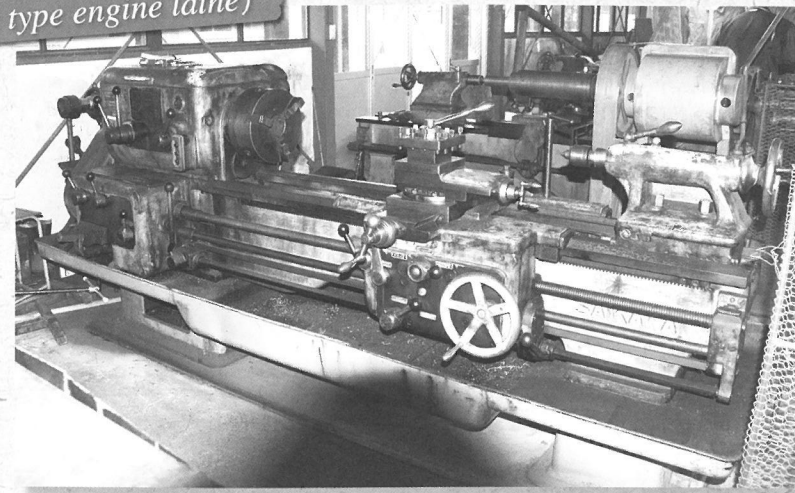
〈取得年月〉 昭和15年4月

英式旋盤 (English type engine lathe)



〈製造メーカー〉 相橋製作所
 〈大きさ等〉 2500mm×1300mm×550mm
 〈出力〉 2 P S
 〈取得年月〉 昭和15年 4月

米式旋盤 (u.s type engine lathe)



〈製造メーカー〉 西川商店鉄鋼部
 〈大きさ等〉 2500mm×1300mm×550mm
 〈出力〉 2 P S
 〈取得年月〉 昭和15年 8月

被切削物を回転させ、固定されたバイトと呼ばれる工具で切削加工をする、工作機械である。ベッド形状は、英式旋盤は平面に対し、米式旋盤は、山型のものを呼ぶ。

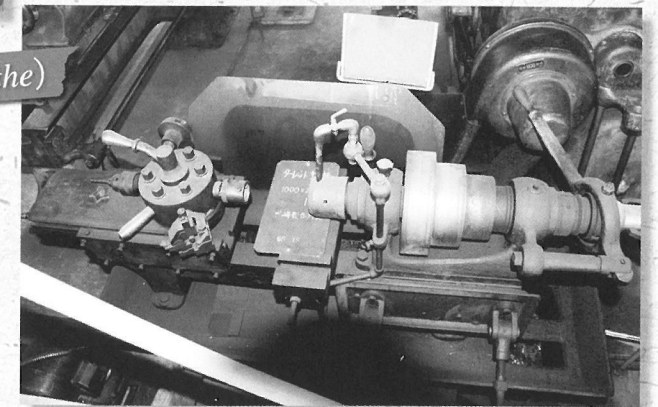
立て削り盤 (slotting machine)



〈製造メーカー〉 河端工作製作所
 〈大きさ等〉 ストローク：500mm
 〈出力〉 2 P S
 〈取得年月〉 昭和15年 4月

刃物が上下に直接切削運動して削ることを、立て削り (slotting) という。立て削り盤は、立て削りによって、工作物の外形や穴の内面を加工する工作機械である。

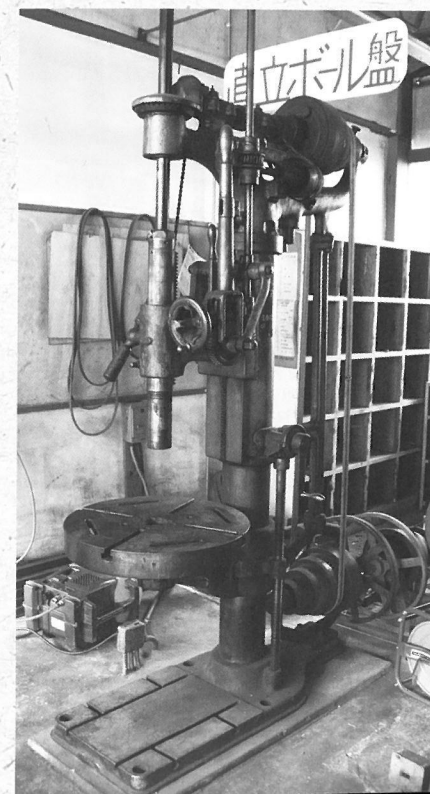
タレット旋盤 (turret lathe)



〈製造メーカー〉 山崎製作所
 〈大きさ等〉 移動量：100mm
 最大切削径：φ25mm
 〈出力〉 2 P S
 〈取得年月〉 昭和15年 4月

普通旋盤にタレットと呼ばれる、旋回式の刃物台を取り付けた工作機械である。タレットに複数の刃物 (工具) を取り付けておき、これを旋回させることで使用する刃物を切り替える。タレットの回転だけで刃物交換が可能のため、大量生産向けである。

直立ボール盤 (upright drilling machine)



〈製造メーカー〉 不明
 〈大きさ等〉 テーブル振り：500mm
 〈出力〉 2 P S
 〈取得年月〉 昭和15年 4月

穴をあけるための工作機械で、テーブルに加工する素材を置き、主軸に取り付けたドリルまたはリーマなどの切削工具を回転させ、主軸を下げることで穴あけ加工をする。直立ボール盤は、直接床に据え付けられるボール盤。



完成した松江春次記念館



テープカットの様子



松江春次記念館内部



松江春次記念館内部



佐伯圭一郎様挨拶 祝賀会にて



祝賀会の様子

この度の松江春次記念館建設にご寄付ご協力誠にありがとうございました。おかげさまで無事完成することが出来ました。

松江春次記念館建設実行委員会
実行委員長 若狭 春生

松江春次記念館が見事に完成し、立派な記念誌を発行出来ましたことは、郷土が生んだ我が母校の恩人を偲ぶとともに、松江春次翁の功績を後世に伝えることが出来ることと思います。
今回の事業に協力頂きました同窓会の皆様、PTA、学校、企業そして、実現に努力された実行委員各位に感謝をいたします。

記念館建設記念誌発行

二回の実行委員会その他、三回の事業部会を開催し、記念誌の作成に取り組んだ。機械科主任の渡部哲教諭には資料集め等々積極的に協力いただいた。
ここに、記念館建設記念誌「松江春次翁の足跡」の抜粋を掲載する。

松江春次記念館建設事業報告

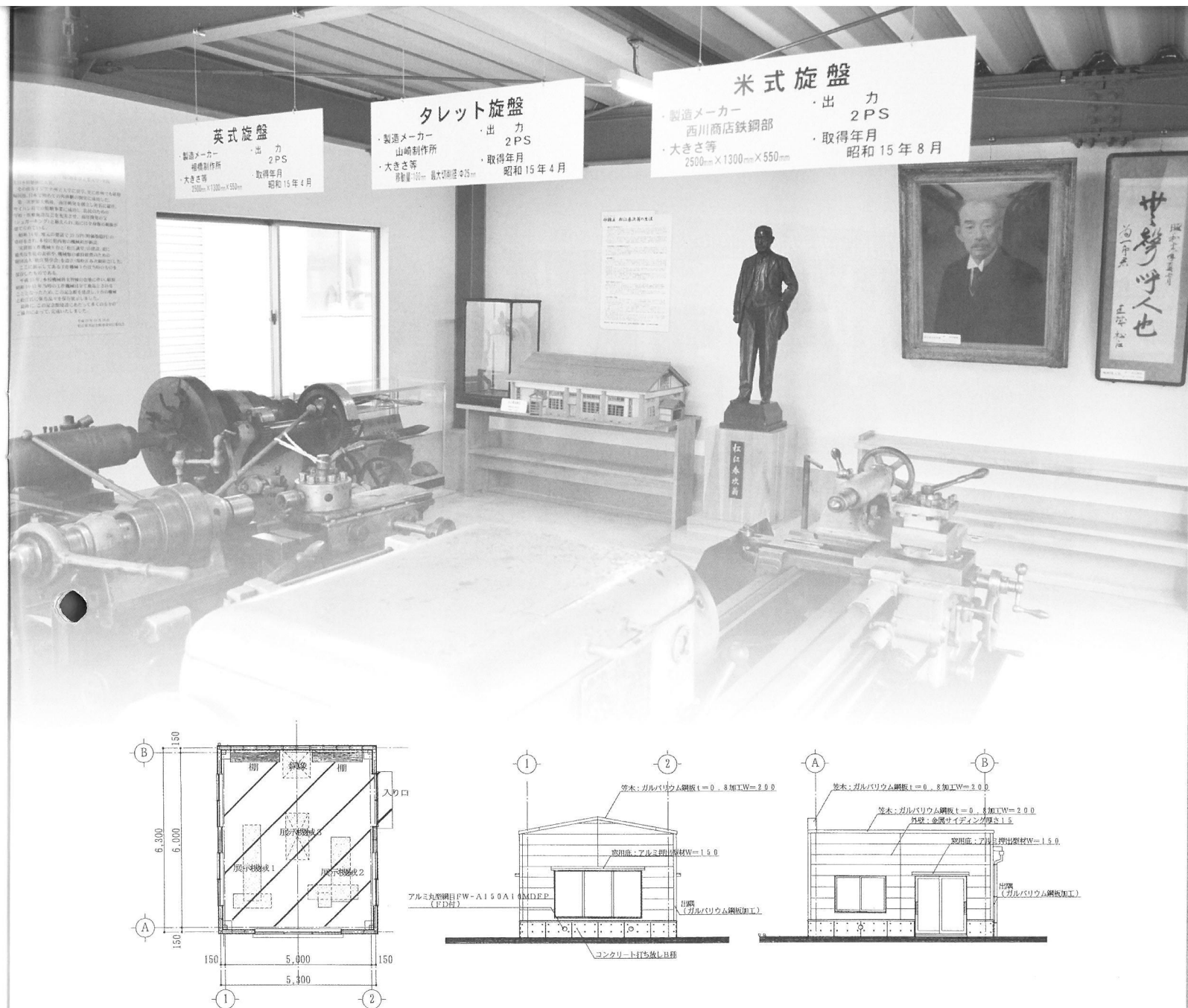
平成二十五年四月二十六日に「松江春次記念館建設実行委員会」を設立し、二回の実行委員会を開催した。事業内容としては記念館建設をメインとし、記念誌の発行、記念館落成式および祝賀会を実施。事業経費予算を七百万円とし、資金調達のための寄付願い書、趣意書の送付も併せて実施した。

記念館落成式・祝賀会

落成式は平成二十五年十月十九日、午後二時より記念館前にて若狭春生実行委員長、吉田一栄松江春次顕彰会会長、山野敏教頭の挨拶につきぎテープカットを行った。

テープカットは若狭委員長、吉田会長、山野教頭、佐伯圭一郎様（松江春次翁御令孫）、伊藤亮太生徒会会長。

祝賀会は会場を「ホテルいづみや」に移し同日、午後五時三十分より開催した。若狭委員長、吉田会長の挨拶につきぎ、平出孝郎福島県議会議員より祝辞をいただき、松江春次翁御令孫佐伯圭一郎氏、山野敏教頭が謝辞を述べた。近畿会工会、大竹文夫会長の乾杯で祝宴に入り盛会裏に終了した。



東京会工会 総会に便乗してクラス 会をやるっ!

幹事長 戸野部 武彦
(昭40M卒)

「同窓会に参加しても知っている人がなくて」とと出席を躊躇されている方が多いと聞いています。そう言う小生も例外ではなく、上京1〜2年目に総会に出席した際、周りにはご年配の方々が多く知っている人も少なく、違和感を覚え疎遠になった経験があります。それから仕事等に没頭し、同窓会のことはいっすらと忘れてしまっていました。だいたい経年から級友(名古屋から転勤して来た鈴木邦男君)から誘われ再び出席するようになったのは近年のことです。

さて今年の東京会工会総会には6月第3土曜日、6月15日に母校、同窓会本部、近畿会工会、東海会工会からの来賓、および多数の会員のご出席の基に行われました。

河ドラマ『八重の桜』で活気が出てきて、当会もそれに肖(あやか)ることにしました。もう一つの新しい試みとして『東京会工会総会でクラス会を!』と呼びかけたことです。「級友をお誘いして是非計画してみてください、座席はクラスごとにまとめて準備させて頂きます」として総会の案内に記載して参加を喚起しました。

東京会工会はこの総会の案内書と同時に恒例になった茅ヶ崎での『地引き綱』を案内し、総会の4週間前、5月18日(土)に実施しました。参加していた同じ科卒の1年後輩の方に、今年の総会でクラス会をと、勧めたのですが、総会のすぐ後、6月末に彼らのクラス会が予定されていることを知りました。間近に予定されているクラス会なら今年の参加は無理でも、来年は東京会工会総会でクラス会を開くことを皆に勧めたいと要請しました。会津からでも九州、近畿、東海、どの地区からでも参加して頂ければ、おおいに歓迎します。

同窓会は役員をされたり行事に多く参加されている方でない限りにおいては、2年以上離れ

文武両道

ている先輩または後輩の方は無関係の人となってしまうのではないでしようか。すなわち入学したときに3年生の方とクラブ活動等での繋がり、そして自分が3年になったときの1年生との付き合いです。『会工』を卒業して故里を離れ幾星霜、同じ学舎で学んだことを絆とし、親睦を深めているのが東京会工会です。クラス会になれば高校・青春時代に舞い戻り、総会で更に先輩後輩の輪が大きくなることを請け合います。

さて過日の6月15日に行われた東京会工会総会では多数の出席があったクラスは33Kの6名(うち一人は浅沼・東海会工副会長、来賓として参加、第一部・懇親会の余興では剣舞・白虎隊を披露)、40Mの6名(うちひとり名古屋からクラス会へ参加して頂いた根本君、同伴者として参加費用を優遇)でした。本稿に掲載させて頂いた集合写真は33Kと40Mに近い卒業年次のクラスとしてまとめたそれぞれの一葉ですが、自称クラスメイトになり多数での撮影となりました。講談師・宝井琴柑さんも交えて賑やかに楽しく過ごしたひと時となって話声が聞こえてくるようです。ぜひ今回の総会には自分たちのクラス会を計画して頂ければ幸いです。

回東地区ゴルフコンペ、⑥芋煮会、⑦第11回西地区ゴルフコンペ、⑧顧問・幹事合同新年会、⑨同窓会入会式・母校卒業生に東京会工会名入りタオル贈呈、⑩母校卒業式出席、です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



REPORT & MESSAGE

若松会工会 研修会を開催

会長 山岸 清
(昭41A卒)

我々「若松会工会」の役員・会員構成は、本部会工会並びに各修養会の重鎮の方々に兼任頂き、広範・多岐に渡った視点・情報を基に、協議・意見交換して行動させて頂いておりまして、筆舌も及ばない程に感謝の気持ちを持って、本誌面の冒頭をお借りして衷心より厚く御礼を申し上げます。

この様な中、本会の例年の主催事業であります『研修会』を、本年は各修養会へも案内を拡大したところ、電友会より三名の参加者を得て、去る七月九日(火)に、昨年よりも二名多い参加者二十四名をもって実施し、午前九時から午後三時までの六時間、密度濃く、充実且つ満足頂けた有意義な一時であったと自画自賛しているところがあります。

今回の研修・視察先は、工業界の花形産業である自動車の製造工場が会津地区で隆盛を極めていているとの紹介を受け、会工同窓生としての胸の高鳴りを覚え、喜多方市岩月町宮津にある「本田金属技術(株)・喜多方工場」

に打診し、二つ返事で快諾を得て実現した経過にあります。工業人としての現役時代を呼び起こさせる発奮の機会にも繋がった取り組みにもなったところでもあります。

今回の研修視察先をもう少し紹介してみますと、本田技研工業(株)の有力な関連企業として、ホンダ車の高性能なエンジン機能を支えるアルミ重要部分を一貫生産するアルミ精密金型製造のパイオニアとして埼玉県川越市に本社・工場を置き、昭和五十年十二月に喜多方工場として操業開始したそうです。現在では機械加工工場も含め、ロボットハンドでの独自アルミ鋳造技術を駆使し、第三量産工場までを有する規模に成長し、二百四十名の従業員で三交代勤務をし、平成二十三年実績で六十二億円の売上高を計上するも、現在は世情の影響を受け減産を余儀なくされながらも、製品ラインアップを自動車産業にとどまらず様々なフィールドに広げ、卓越した技術力で高性能を美しいカタチに凝縮し、オートメーション化を推進してお客様へベストクオリティをお届けすることをモットーに頑張つて

いる、と説明員の熱き思いをしみじみと拝聴したところであります。アルミ精密製造の工程を、金型設計・製作から完成品の品質管理までの工程を見学させて頂き、久しぶりに大きな感動を体感したところではありますが、見学コースでの写真撮影が認められず、十分な思いを伝えられないのが残念でなりません。今度の機会には更に多くの方々と感動を共有できたら、との思いをもって工場を後にしたところでもあります。

その後、本年のNHK大河ドラマの主人公である新島八重さんと同時代に、全国に博愛慈善の施策を広め、今日の社会福祉事業の先駆者として数々の功績を残し、熱塩温泉郷の示現寺にある、日本女性で初めて藍綬褒章の栄に浴された「瓜生岩子刀自座像」を参拝し、そして同郷にある生家の「山形屋」様で、昼食・懇親・交流会を開催し、ゆつくり温泉に浸かりながら日頃の疲れを癒すとともに、お互いの近況を確認しあったりして、ゆとりの一時を満喫して頂きました。

参加して頂いた方々には、貴重な研修会であった、との御礼



東海会工会 会津藩と尾張藩との 親密な関係

会長 笠間 忠英
(昭35A卒)

会定例総会を名古屋市内で開催しました。同窓会本部より若狭会長、藤田筆頭副会長、木村幹事長、本校より山野教頭先生が出席して頂いて会工高創立110周年記念式典記念祝賀会等の開催について報告を受けました。東海会工会もその歴史の火を消さない様会員一同頑張りたいと思えます。

尾張名古屋と会津との関りは親密なものです。会津藩容保公の実家は尾張藩の支藩である高須藩であり高須四兄弟を輩出した徳川直系の藩であります。尾張藩初代藩主は徳川義直(家康の九男)であります。義直の子光友(二代藩主)の二男松平義行が高須藩の初代藩主となります。この高須藩の10代藩主である義建が高須四兄弟の父親であります。

次男慶勝(尾張十四代藩主に)
五男茂栄(尾張十五代藩主となり徳川茂徳に)
七男容保(会津松平家の養子に)
八男定敬(桑名松平家の養子に)

鶴雲飛翔

質実剛健

近畿会工会

石川 善一
(昭39 E卒)

雑感

幕末に於てこの四兄弟はそれぞれの立場で苦勞活躍したので。孝明天皇は見事な軍事統率力を示すと共に任務を誠実に果す容保公に厚い信頼を寄せ、ひそかに宸翰を下賜したことはあまりにも有名であります。容保公が千人の藩士を連れて京に入つたのは1862年であります。金戒光明寺・塔頭・西雲院住職の橋本周現さんは会津藩は京都にきてすぐ墓地を確保している。すごい覚悟ですと力説していました。だが新政府に歴史がゆがめられ藩士らが命懸けで京都を守ろうとしてきたことが知られていないと指摘、正しい幕末京都の歴史を伝えていきたいと話していました。

容保公の孫で元福島県知事の松平勇雄さんは知事時代に毎年東海福島県人会にお見えになりました。名古屋はもう一つの故郷であると云われ尾張徳川家の菩提寺建中寺にお参りしていました。余談であります松平勇雄さんが高田小学校三年生の時に私の父等間参蔵(明治31年生)がクラス担任をしていました。その御縁で当時の松平知事と毎年御挨拶をさせて頂いておりました。

私が会津を後にして、大阪に住んで五十年になる。鹿島の総合職となり大阪支店に転勤となった。当初2、3年で本社の方へ帰れると思っていたが定年退職まで43年、関連会社4年、その後今に至っている。鹿島では、主に地下鉄・下水道・地下貯水池と36年に渡り公共のインフラ工事に従事し、管理部門には7年しか在職していない。鹿島、特に大阪は働き易い。自由で開放的な面が他支店と比べて多く、良い会社人生を過ごせたと考えている。それと学校・会社・家族・友人・諸先輩の応援の賜物と感謝したい。在職中から故郷会津の動向は気を掛けていたが、学校には、近畿会工会の役員になるまで訪問したことが無かったが、数年前に行つてから同窓会、学校に対して考えが変わつた。その後は同窓会、近畿会工会発展の為、微力ながら貢献している。また、定年退職後は、福島、会津の事が気になる、種々の文献、資料から歴

史の勉強を始めた。特に保科正之公の生涯・功績・幕末維新の会津藩の立場、功罪、人材等を調べている。偉大な先達を多く輩出した事に誇りを持った。今般NHKで「八重の桜」が放送され、会津人の魂、見所等が紹介されて全国に知れ渡っている事が非常にうれしい。東北、福島会津も東日本大震災の後遺症から少しづつ立ち直る事を願う。福島第一原発事故の後遺症の後遺症は、遠い将来まで悪影響を及ぼすので喜ぶ訳にはいかない。又、今後も永く避難生活を余儀なくされる県民が沢山出ている現状を憂える。従つて残りの人生は、世界、日本、故郷福島の為少しでも役立つようにする積りである。以前から種々関わりのある「あしなが育英会」、「ユニセフ」、「JCF」、「WWF」、「国境なき医師団」等への募金、故郷関係として「京都府会津会」、「関西福島県人会」、会津会、地域関係として「OBゴルフ同好会」、「友人、地域のゴルフ同好会」、飲み会等を通じて社会に貢献したい。それには健康第一が大事である。楽しく、元気に何事も「利他」をモットーに生きたい。

郡山会工会

近況

郡山会工会事務局 菊井 徹哉
(昭58 D卒)

同窓会会員の皆様お元気でお過ごしでしょうか。平成23年の東日本大震災より2年余りが経過しました。平成25年度 郡山会工会総会は去る5月18日郡山駅前前の三松会館で開かれまして。いつも会場にしている三松会館は震災により2年間使用できませんでした。内部はほぼ以前と同様に修復されていまして。福島県は自然の前に脆くも崩壊した原子力発電所の事故?故障!による放射能汚染の影響は未だに強く(原子力はまた神の領域!!)、浜通りを中心として未だに17万人近い人々が避難生活を送っています。放射能は気流に乗って霊山付近から中通りを南下し福島・郡山・須賀川付近に流入、放射能のために中通りでも他の地域に移動・避難する状況が続いています。学校、公園、公共施設など多額の費用をかけた除染作業が行われていますが、広範囲かつどこにあるか視覚的に確認できない相手、魔如完了まで40年以上と推



察される状況は、除染作業に関わる人々や帰還した人々の被爆による疾病の増加を考えると、除染など止めて放射能汚染地域は居住・生活を廃棄した方がよいのではないかとも思われます。でも美しい自然は、神の力によって再生するでしょう。

郡山会工会としては本年度も参加者は減っていますが6月15日に恒例のボーリング大会を行い、金田会長のもとに会の活動が維持されております。昨年は田代喜伊市さん(繊維S13卒、元・郡山会工会会長)が逝去されました。日本社会は高齢化が進行し、郡山会工会も新人の勧誘に努めてはいるものの新入会はなく会員の高齢化が進んでいます。(写真は総会時の記念撮影)。昨年は須佐勝明選手が口

REPORT & MESSAGE

福島会工会

基礎力

新井田 国臣
(平3 E卒)

私は電気科を卒業後に電気機器メーカーに就職し設計課に配属されました。

入社してまもない頃は会工で学んだ基礎を何度も思い起こし、その時の教科書を見ながら仕事に従事してきました。約10年が経つてようやく会工で学んだ基礎を自分のものに出来たと感じてた頃の話ですが、社員が何万人もいる大手某社と共同開発を進める事になりました。某社のメンバーは全員日本を代表する大学出身であり、その肩書きにたちまち劣等感に陥ってしまいました。そんななかで

開発を進めたのですが、いつの間にか開発メンバーと対等に、私も相手も何の偏見も隔たりもなく仕事が出来ていました。結局のところ基礎的なところさえしっかりしていれば相手より劣るような仕事をする事がなかったからです。開発はうまく行き無事に製品化されたわけですが、私でも日本の最先端に居る人達と同じく仕事が出来たことは大変自信になりました。それと同時に当初劣等感を感じていた自分を思い返し、先輩方や後輩達に大変申し訳ない気持ちになりました。開発成功はまさに会工で学んだ基礎力の賜物だった訳で、会工は日本を変えるだけの力があると身をもって感じた話です。

諸先輩方には偉業を成し遂げている方が多くいます。社会に出て間もない人達には私の経験談も少しは参考に、母校で学んできたことに対して誇りと自信を持つて頂ければと思います。



坂下会工会

坂下会工会35周年の歩み

会長 五十嵐 一夫
(昭43 A卒)

坂下会工会は今年35周年を迎えます。35年を振り返りますと、設立時は社会が成長期であり、同窓生にも熱気があり、多くの催しにワッツと集い賑やかに盛り上がっていたのが懐かし



設立総会はお盆を過ぎた、まだ残暑の残る頃、駅の近くの割烹「弘法湯」で開催しました。会長には町役場勤務の二瓶隆男氏(工芸科・昭和24年度卒)を選出しました。同窓会本会の会長、佐藤勝次氏(坂下出身)をはじめ、本会同窓会や学校・PTA・同窓生など多数出席しました。

同窓会を開催しますと最近では会員の出席が20名ほどです。で、往時と比べ寂しく残念であります。他同窓会も同様です。でこれも時勢と思えば致し方ありません。

今までの同窓会活動としては、定期同窓会に坂下地区の会津高校・若松商業高校の同窓会を招待し、一緒に会津線(現在は只見線)で通学した仲間と旧交を温めています。三校ソフトボール大会を当同窓会が提唱し長らく続き、今は坂下地区の各校同窓会ゴルフ大会に発展しました。

学校への新入生に入学祝の贈呈、坂下駅への雨傘の寄贈(帰宅時の急な降雨に利用)100周年にあわせ坂下独自でサイパンの松江春次翁の遺徳を偲び、サイパン知事を表敬訪問し子孫

の佐伯圭一郎様とはずっと友好を継続しているなど、多彩な事業を展開して参りました。勿論同窓会の定期総会のほかに新年会、花見、きのこ山、役員会などを頻りに開催しました。

最近の活動としては、同窓会総会に、学校と本同窓会の招待は勿論のこと、他に湯川と柳津そして会津高校・若松高校同窓会、地区のPTA会長を招待しています。坂下町のマラソン大会に3年続けて同窓会でもある駒澤大学の八木監督を始め、陸上部の皆様を招待実現に貢献しマラソン大会を盛り上げています。昨年・一昨年には同窓生の須佐勝明君のロンドンオリンピック出場への激励やサッカー部の東北大会出場の募金の協力を行いました。地区PTAとの懇談会には、年間2回出席して現在の会工生徒の状況を把握し連携に努めています。

同窓生や在校生の活躍も利用しながら坂下会工会も総会や会合を年間4、5回開催しています。会員の新聞店の方の協力で、事ある毎に坂下会工会の記事を掲載して戴きPRしています。会員との意思疎通を図り末長い坂下会工会の存続に努めています。

至誠勤労

駒澤大学陸上競技部
大八木弘明監督
北京五輪陸上男子
マラソン代表 佐藤敦之選手

歓迎会

10月20日に会津坂下町で開催される「あいづばんげ『いにしえ街道』マラソン大会」に出場する駒澤大学陸上競技部の大八木弘明監督、北京五輪陸上男子マラソン代表の佐藤敦之選手の歓迎会は18日、会津坂下町の『パストラルホールB.A.N.G.E』で開かれた。

大八木監督は会津工高、佐藤選手の母校の会津高の同窓生や各種団体の関係者約80人が出席。主催者を代表し会津工高



初志貫徹

同窓会坂下会工会の五十嵐一夫会長がいささし、齋藤文英町長、齋藤善平町・議会議長、駒澤大OBの二瓶孝也会津中央乳業社長が歓迎の言葉を述べた。

大八木監督、佐藤選手がそれぞれ登壇して近況報告をし、マラソン大会を盛り上げる決意を語った。大会に参加する駒澤大学陸上競技部の選手、マネージャーが紹介された後に大八木監督、佐藤選手、駒大陸上競技部の選手に花束が贈られた。会津坂下体育協会会長の渡部三郎の音頭で乾杯し、親交を深めた。

猪苗代会工会 会工で学ぶ

会長 山口 一男
(昭37A卒)

昨年、創立一〇周年が開催され更には、盛大に会工祭、このたびは第六十五回秋季東北地区高校野球県大会で「ベスト4」に入り会工の存在が輝いています。

小社には、会工同窓生が六名、建築設計監理・特殊建築物の調査・建築物の耐震診断及び耐震補強設計等に励んでいます。

す。夏休みには、一年の生徒に業務の一部を手伝って貰い大変助かりました。

今年三月卒で入社した者は、県立高校耐震補強設計のスタッフの一員として年上から頼られています。平成二十二年卒の者は、東日本大震災で大きな被害を受けたいわき市内の県立高校改築工事設計を、サブの立場で仕上げました。鉄骨鉄筋コンクリート造3階建、延べ面積七二・六・九九平方メートルの校舎の他、実習場等十棟でした。平成十九年卒の者は、県立高校耐震補強設計の他、猪苗代町公営住宅群、二本松市公営住宅群の設計を手堅く仕上げ好評を得ています。

会工で学んだ者が見事に社会のために有意義な存在で活躍している事に私達年長者一同、改めて認識させられています。

過日、東京方面へ著名な設計者が手掛けた作品を一泊二日で設計業務に携わる者全員が見学しました。多忙な業務の合間に研修を重ね各自が精一杯の能力を発揮できる様に配慮する事が私達年長者の役目だと認識しています。

猪苗代会工会会長を受け多く

の同窓生に声を掛け、更に強力な組織として地域社会に貢献できる様に努力いたします。地域の同窓生の皆様には本会活動に絶大なご協力、ご支援を賜ります様お願いを申し上げます。

結びに同窓生の皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたします。

会津美里会工会

会長 栗木 俊昭
(昭45電子卒)

会津美里会工会は、昨年より横山会長から、私栗木が会長職を引き継ぎました。引き継ぐに当たりましては、他の会工会や当美里会工会におきましては大先輩方が名を連ねており、大変恐縮しております。また同時に、会長職に指名された以上は、会の維持発展に努めてまいります。

会津美里会工会は、発足して今年で6年目となりますが、横山前会長には初代会長として、発足当初からの運営にご尽力いただきましたことに深く感謝申し上げます。

本会の活動といたしましては、総会、役員会の開催及び新

建友会

「道の駅」の進化

会長 小山 源昭
(昭38A卒)

昭和38年4月に社会人となり、早や50年過ぎてしまいました。幸いにも、大きな怪我もなく、病もなく、健康に恵まれ、間もなく70才を迎え、楽しく元気に仕事してる毎日です。

還暦までの40年は、ゼネコンと設計事務所建築ひと筋でした。それからまもなくタイミンが良く「道の駅」の仕事に就きました。

はじめに「道の駅にしたい」を、次に現在の「道の駅」を「を」を立ち上げ営んでいます。現在「道の駅」は全国で1,010カ所、東北で145カ所、県で26カ所、会津で11駅を数えるまでになりました。

これまでは、道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々への「情報発信機

REPORT & MESSAGE

能」、地域と道路利用者、地域間の交流を促進する「地域の連携機能」の3つの機能を併せ持つ休憩施設として、その役割を果たしてきました。

最近では、先の東日本大震災と原発事故に際しては、被災者救援拠点、自衛隊や消防等の基地、物資の集配拠点、復興支援イベントなど、復興支援の拠点として重要な役割を果たしてきました。

この休駅により、「地域防災機能」を持つ道の駅が、国民から改めて注目と認識され、「有事、災害のときは、まず道の駅へ」が定説化してきました。「道の駅」は高速道のサービスエリアとかドライブインとは違い「地域性が凝縮された多機能施設」なのです。

これからも、益々多様化し、かつ重要となる「道の駅」の機能を充実させ、「道の駅」も「う」の駅長として、福島県及び東北地方のリーダーとして誇りを持ち、地域がより元気になるため、道路利用者のため、まだまだ楽しく現役でまいります。



会工電友会

学校の歴史教育

近代史に力点を

会津美里町 根本 一雄
(昭36E卒)

父が「お前は日本でなく満州に住むと思っていた」と話したことや、母が「螢の光の歌に、昔は台湾という言葉が入っていた」と教えてくれたことを思い出します。

私は工業高校を卒業したため歴史の授業が少なく、学んだのはほとんど奈良、平安、鎌倉、戦国時代のことだった。近代史の勉強は少なかつたと記憶している。しかし、今国民にとって本当に大切なのは明治、大正、昭和の近代史だと思ふ。

数年前、台湾や韓国へ旅行に行き、第二次世界大戦終戦まで朝鮮が三十五年間、台湾が五十年間、日本の統治下にあったことを知った。先日は図書館で満州事変ごろの歴史を学んだ。隣国にいかにも迷惑をかけたかを感じ知った。当時の歴史を知人に尋ねても、ほとんどが私同様、近代史を知らない人が多かった。歴史教育では近代史を重点に教えるべきだと思う。

機友会

事務局 森田 哲郎
(昭55M卒)

日頃から機友会に對しまして、ご理解・ご支援を賜り感謝と御礼を申し上げます。

七月六日(土)「割烹 田季野」において定時総会が開かれました。

今年は、役員の改選がありましたが、会長、副会長、幹事長は留任となりました。会計監査の本宮淳一氏から退任の要望があり、前年まで学校事務局にお



子や孫に平和な世を受け継ぐためにも、政治家は歴史を踏まえて日本のかじ取りをしてほしい。

られました鶴岡幸江先生に後任を要請したところ快諾していただきました。総会の席で承認されました事を報告申し上げます。

総会では、事業報告、会計報告の後、今年度の事業、予算について審議され、役員改選により、新体制が整いました。新役員は次の通りです。

会 長 栗城 和夫
副 会 長 佐藤 義之
幹 事 長 渡部 重三
会 計 長 菊地登貴雄
会 計 監 査 荒川富士雄
事務局 長 渡部 優生
事務局 森田 幸江
事務局 玉川 哲郎
事務局 渡部 誠

総会終了後懇親会に入り、若狭会長、根本校長より祝辞を頂きました。また、機械科科長の渡部哲先生から授業内容など生徒の様子を伺いました。

機友会では平成十七年度から、九年連続で機械科に奨励金として毎年五万円を贈呈しております。奨励金は、機械科・精密機械科卒業の方々から協賛金として集めさせてもらっています。

セラ友会

会長 渡部 洋子
(昭32K卒)

窯業科・セラミック科・セラミック化学科の卒業生でつくる「セラ友会」は七月二十日(第三土曜日)午後四時からホテル「いづみや」にて、平成二十五年度総会を開催いたしました。

総会開始に先立ち、物故者への黙祷を行い、開場一宏副会長の開会のことばから始まり、母校の校歌斉唱を行いました。

議長に昭和四十三年窯業科卒の青山孝男さんが選出され、事

威風堂々

業報告・会計決算などや新年度のやきもの教室・史跡めぐり・研修会等の事業計画・予算は原案どおり承認決定されました。続いて、役員改選で顧問に島影孝敬氏、佐藤悦郎氏、荒井士郎氏、副会長に斎藤司氏、板垣正宏氏、山上和夫氏、副幹事長に長谷川利彦氏、幹事には、松本征雄氏、松本誠氏、水野俊彦氏、監事に古川義市氏が追加されての今後二年間の役員体制が承認されました。役員氏名等は後記に記入。

長年の会報発行に携わってき



ました板垣正宏氏に、ご尽力に対する感謝の記念品贈呈を行いました。

その他として、会報二〇一四原稿依頼がされた。母校創立一一〇周年記念事業報告及び松江春次記念会館建設について、木村洋一同窓会幹事長から報告を受けました。

ロンドンオリンピック出場も須佐勝明君への支援協力についての報告も行われました。

母校からの報告では、セラミック化学科主任村田光夫先生から十一月に開催された全国セラミック教育研究大会の報告と高校生とセラミック作品展に最優秀受賞報告が行われ、受賞作品の展示等もありました。

恒例となっている総会後の講演は、「白虎隊士・飯沼貞吉」会津への思い」会津本郷焼とのかかわりと題して、昭和四十一年窯業科卒の梨子本傑様のお話を聞いて戴きました。

懇親会は、根本和次学校長をはじめとして、総勢三十四名で、楽しく行われました。

セラ友会役員名簿

名譽顧問
吉田 一榮、坂内 茂男、坂場 恒雄

顧問
高羽 芳満、橋本 英雄、石井 久夫、津田 進、島影 孝敬、佐藤 悦郎、佐藤 松夫、荒井 士郎、斎藤四志男、

会長 渡部 洋子
副会長 関場 一宏、斎藤 司、浅沼 定雄、板垣 正宏、山上 和夫、

幹事長 二瓶 正人
副幹事長 長谷川利彦
幹事
松本 征雄、松本 誠、水野 俊彦、岩澤 伸夫、青山 孝男、古川 義市、鈴木 一彦、木村 洋一、宗像 利浩、渡部 祐平、

會計
箭内 健男、梨子本 傑、

幹事
岩澤 伸夫、古川 義市、事務局 梨子本 傑、

村田 光夫、大濱 達明、大塚 正幸、村山 彰一、山内 義美、熊田 志郎、



会工美修会
顧問 眞一幹事長を偲んで
会長 曾根 賢治 (昭36L卒)

私、昨年前会長の白井氏が体調不良と云う事で残任期だけ引き継ぎを致しました。

これも歴代会長を補佐してこられた風間名幹事又他の役員方が居られた由に安心して心良く受けられたのでした。

五月二十五日の役員会にて引き続き会長を受ける事となり風間氏又副会長の儀同氏共に心強く

思って居りました。その役員会で初めて風間氏と美修会の運営等について話し合い、その中で風間氏が幹事長を退きたいと申し出て大変に驚き、皆で協力し補佐するという事でやっとお願いをしたのですが、今、思えば貴男も体調がすぐれなかったのかと、無理をさせたのかと申し訳なく思っています。

後日、風間氏と会った時に趣味の話になり、私と一致する事が多々有り、今後の御付合を楽しみにして別れたのが最後となり非常に残念です。

これからも会工美修会の事を天国から御見守り下さい。合掌

いわき会工会

この度、念願のいわき会工会が9月29日グランパークホテルエクセルいわきで開催し、設立致しました。設立総会には、学校長、若狭会長、藤田副会長、木村幹事長の4名が祝いに参加し、役員は左記の様に決定されました。今後の活躍、発展を期待されます。

会長 大川原昌之 昭28E
副会長 上野 哲 昭28A

REPORT & MESSAGE

佐野 容昭 昭32E
幹事長
梅宮 昭 昭39A
會計
矢沢 行恵 昭34A
監事
佐々木富市 昭45A

昭和電工(株) 東長原会工会

支部長 山口 栄喜 (昭46E卒)

日頃より会津工業同窓会には何かとお世話になりお礼申し上げます。

当東長原支部は磐梯山を間近にした緑豊かな地域環境にある河東町東長原長谷地地区にあり、この昭和電工の敷地には、昭和電工(株)東長原事業所、グローバルアドバンストメタルジャパン(株)会津工場、中央化成品(株)会津工場並びに常駐協力企業等の各社があり、有機化学や無機化学などの化学工業製品と、電子材料等の非鉄金属関係の生産等を行っており、現在の会工同窓会の会員数は62名で、各企業・各職場の責任ある立場で昼夜活躍をしております。

このように各企業に勤務している会工会の同窓生で、会工同

窓会東長原支部を運営しているものですから、各社より幹事を選出し支部長並びに副支部長等を決め、会員相互の親睦を図り、情報交換と自己啓発に努めることを目的に活動を行っております。

近状の活動状況をご報告申し上げますと、「会工同窓会東長原支部会則」の規約に則り、今年度は4月24日(水)に29名の会員が出席し、総会及び懇親会を開催しました。

総会後の懇親会では一名の新入会員(新卒者)の紹介と、めでたく定年を迎えられた一名の紹介後、新入会員及び定年退職者の皆様からご挨拶を頂き、その後、各社の情報交換や懇親、応援歌・校歌斉唱等を行い、会員の親睦を図り和やかで盛大に開催することができました。

その他の会工同窓会の活動に付きましては、芋煮会や送別会、激励会等を行い、各社の各職場に点在している同窓生の親睦を深めながら交流会を行っており、勤める会社は違っても東長原地区で働く、会工同窓生の交流を図ることの意義を感じております。

最近、団塊の世代の定年退

職者増に伴い、会工生の新規採用者が多くなってきたことと、定退者の再雇用制度で勤めを延長される方が多いことが重なり、毎年会工会員数の増加を継続しています。

今後は、当会工同窓会に關係の深い化学系の学科が縮小されており、新卒者の入社に多少不安はあるものの、会津工業高等学校の優秀な卒業生(女子の方を含め)を多く迎え入れることを期待し、各企業の会員とも昼夜仕事に励んでおります。

今後とも更なる母校の発展を祈念致します。

三菱伸銅(株) 鶴友会

校歌、応援歌の大会唱

三菱伸銅鶴友会会長 高橋 誠 (昭60年E卒)

三菱伸銅鶴友会は、会津若松駅北側にある「三菱伸銅株式会社若松製作所」に勤務する会津工業高校卒業生からなる同窓会です。

現在は会員数120名と、会社内でも一番人数の多い高校の同窓会となっております。

年齢構成は、50歳代は数名しかおらず、殆どは40歳代前半から20歳代の間で構成されております。

会員の会社内の業務としては、技術系の高校を卒業したこともあり、殆どが技術系や製造設備のオペレーターを行っております。

会社は製造業であり、土日とも関係なく、24時間連続操業していますので、日曜日の昼間が休日になることは月に一度あるか無いかと云うところです。

我が鶴友会の活動としては、10年前までは2年に一度旅行を行っておりましたが、会社の勤務体系が変わり土日が休日でなくなったこともあり、大勢で旅行に行く事が出来なくなり、現在は5月連休中に行う新入会員の歓迎会&花見会と、年末に実施している総会の2回のみ親睦会を行っております。

また、東日本大震災直後の5月連休時に花見を実施すべきか幹事同士で迷いましたが、自分達が会津を元気にする方法は、今まで通り変わらず市内の飲食店で親睦会を行い、総会は東山温泉に泊まることと意見が一致し、わずかながらですが会津に

貢献出来たと思っております。

この親睦会では、会津工業高校の校歌や応援歌を皆で大会唱するのが恒例となっており、毎年必ず一度は聞いておりますので、卒業しても今でも忘れておりません。

鶴友会会員同士は公使共々、深い絆で結ばれており、会社の歯車存在ではなく、皆会津工業高校卒業生のプライドを持つて柱になる存在になっております。

これからも皆で力を合わせ頑張って行きます。

三菱製鋼会工会

代表 野辺 良浩 (昭50T卒)

ご安全に
大変お世話になっております。
三菱製鋼(株) 広田製作所
三菱会工会です。

昭和四十八年に、発足し今年で四十一年を迎えました。現在六十歳から十九歳までおり、昨年九年ぶりに二人、今年一人の新会員を迎え十七名で、毎日昼夜安全第一で、勤務及び親睦を深めています。

親睦を深める為、新年会、花見、暑気払い、いも煮、会員全員で一泊旅行に行っています。昨年は栃木県日光市に行ってま

温故知新

乾坤秀霊

いました。今年も秋に予定されています。今後もしよろしくお願ひします。

OB会 吹奏楽OB会 brassバンド設立について

梅宮 昭
(昭39 A卒)

会津工業高校100年の記念誌(195頁)にブラッスバンド設立についての記事が記載されておりましたが、記載内容は理解出来ませんでした。その中で、一部皆様方に知られていない、生徒達の隠された楽器購入用資金集めの為のドラマがあったことを知って戴きたく投稿させて頂きました。何かの機会にでも紹介して戴きたいと思っています。

昭和37年、私が高校2年生のとき生徒会執行部の役員、野球部のレギュラー、応援団のマネージャーをしており、他校にもブラッスバンドが在り、無い高校も設置に動いているから我が校も設置に動いてはどうかとの意見が出て、同年の生徒総会に於いて私が提案し設置を決定して戴きました。早速、楽器を買う為の予算の段取りとして、一番お世話になる応援団と野球部が協力して何と

かしようと話し合い、同年11月の会工祭に於いて3日間、応援団50名、野球部75名で食堂、売店を経営し、37万8千の利益を出しました。又、生徒一人から100円の寄付を頂き、50数万円の予算を作り出して、楽器購入の資金に当てました事。そして、これは、協力してくれた大勢の若い力の結集であり、希望であり、力を合わせれば何でも出来るものと考え、全生徒の連帯感が物語つておりました。当時、ブラッスバンドの楽器一式の値段が25万円以上しており、先生方と相談し、先生方は1セットだけ買い予算を残すように進められましたが折角のお金なので50万で2セット購入することを決め、先生方にお願ひしたことを覚えています。又、参考に野球部の一年間の予算が25万28万円でしたから相当な金額であったと思います。同38年ブラッスバンドの活動が始まると、2セット分の楽器のお陰で団員全員に楽器が行渡り十分な練習が出来たと担当の三浦先生から聞き、嬉しく感じたことを覚えています。又、一度見に来てくれとも言われましたが野球の練習で行けず残念に思っています。

同年、夏休み明け、全校生の前で演奏披露、(このときブラッスバンド設置記念として作られた、鶏鳴応援歌のC調が初めて紹介された)。そして、秋の野球3校大会での華々しい初デビュー、ブラッスバンドの音色に酔い、野球部、応援団の一員として楽しんだ一日でした。その後の活躍は皆様方のご承知の様に素晴らしいものであった様に聞いております。以上、報告いたします。

会工元氣会

この会は会工に在職した退職教職員で組織し、会員相互の親睦を図る目的で、今年10月17日(第3木曜日)に開催いたしました。会場は会津若松市内の迎賓館『寿し万』にて、遠くは郡山市より総勢48名の出席のもと開催されました。

総会は江花光泰会長のあいさつ後、議事にはいり事業報告や会計報告、次年度の事業・予算案等を承されました。総会終了後懇親会の席上、新会員3名の紹介がなされました。母校からは来賓として山野教頭先生が出



松江春次さんをしのんで

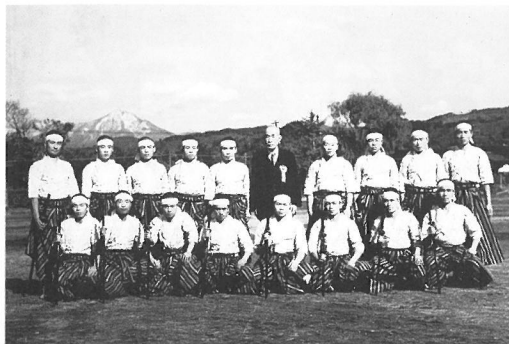
小松山 忠
(昭31 E卒)

昭和二十八年四月、会工電気科に入学致しました。自宅、学校間は磐越西線で通学しました。自宅、川桁駅・会津若松駅・会工と当時は徒歩で往復四時間も要しました。それでスポーツクラブは無理かなと、吟詠会(剣舞)に入って、増井先生の指導の下に、毎日校庭で練習に励み、二年生になって、上級生と一緒に会津若松開催の学校長会等で演じました。二年生は、私と工業化学の斎藤恭昭君が十六剣士の中に入り練習に励んだものです。丁度その年、産業教育七十



REPORT & MESSAGE

周年記念にあたり、全国で三校選ばれ、当校の剣舞も入りました。昭和二十九年十一月八日、我が十六剣士は東京公演を行ってきました。その前に、会工の剣舞創立記念日十一月一日にあたり、その日に松江さんから激



励の言葉を頂きました。忘れることが出来ません。

また、秋晴れのもと、磐梯山を背景に松江さんを囲んで、記念写真を撮り懐かしい思い出です。

松江さんは、シュガーキングとして広く名前は知れ渡っていました。世界に日本人の立姿の銅像は二つあり、一つは米国自治領サイパン島にある松江春次像、もう一つは、メキシコ・メリダ州にある野口英世像です。当時の写真を同封します。

(尚、松江さんは昭和二十九年十一月二十九日世を去りました。七十八才)

会工恩師と 会工仲間へ感謝

佐藤 和行
(平12 M卒)

会津工業高校を卒業し、早10数年になります。母校の正門付近の道路を通るたびに、「友人とよくこの道を通った」「この辺でポケベルを落として壊れた」など幾つもの思い出が蘇り、またほぼ毎日通った実習棟での出来事などを思い出します。

根性一途

現在、職場では指導者として、多くの後輩を育成する立場になりました。その指導の指針となっていることは校訓でもある「質実剛健」です。在学当時からこの言葉に感銘を受け、私の生きていく「原動力」ともなっています。

また、私は、在学時に部活動などの大きな貢献はありませんでしたが、素晴らしい同級生とともに厳しいトレーニングに耐え「気力」「体力」を培うことができた、現在では大きな壁にぶちあたったとき「なにくそ!」の精神で前向きにあらゆることに挑戦でき、在学当時の部活動での経験と校訓こそが私の人生の中で大きな糧となっていることに間違いありません。

伝統あるこの会津工業高校の門をくぐり、次代は異なりとも同じ校舎、実習棟で学んだ先輩方が全国各地で活躍していることを誇りに思い、どこへ行っても「会工生」であったことの共通点となる「絆」を大切に、これからのもしっかりと自らの職務に精進していきたいと思うところです。

福島県立会津工業高等学校 窯業科卒業 41Kクラス会

梨子本 傑
(昭41 K卒)
五年前の還暦クラス会より毎



年開催しています。今回は、親睦旅行を兼ねてのクラス会でした。旅行先は伊香保温泉です。途中、深谷市在住で同級生の渡部幸夫君を訪ねました。そこで、作品を見せてもらい角皿づくりに挑戦しました。どんな作品に仕上がるか楽しみです。ホテルでは話がつきなく時間の過ぎるのを忘れて、一晩中思い出話にあけくれました。次の日は金環日食を観察したり伊香保神社の周辺を散策、さらに榛名湖・ロープウェイで榛名山山頂・榛名神社と見てまわり新緑を満喫し、好天に恵まれ最高の旅でした。

今年度受賞・活躍された方々

星選手 東アジア大会陸上男子5000㍓V



【男子5000㍓】14分25秒00で優勝した星創太選手(中国・天津(共同))

東アジア大会 陸上男子5000㍓

【天津(中国) 共同】
東アジア大会第三日は八日、中国の天津で行われ、陸上男子五千㍓は星創太選手(富士通、会津工高卒)が優勝し、金取れてよかった。星創太選手の話スローペースになったら、ラストスパートで勝負すると決めていた。大きな大会で優勝することが一番の目標。金メダルを取ることでできてよかった。(共同)

平成25年10月9日付 福島民報社

星(富士通) 会津工高卒 V

(20面に関連記事)
駒大時代は箱根駅伝などに出場。六月の日本選手権では五千㍓で初優勝した。今後に向け「トラック種目で継続して日本代表になり、リオデジャネイロ五輪を目指したい。将来的にはマラソンにも挑戦したい」と活躍を期した。

今年度受賞・活躍された方々

機械科実習棟を視察 建築インテリア科生

機械科実習棟を視察 会津工高 建築インテリア科生



改築中の実習棟を見学する生徒

会津工高の機械科実習棟改築現場見学会は二十五日、会津若松市の同校で開かれ、建築インテリア科の生徒が十二月完成予定の実習棟を視察した。建設関係の仕事に従事する人たちの話を聞き、将来に役立ててもらおうと県会津若松建設事務所が企画した。同校の一年生三十七人が参加した。工事現場を見学した後、設計会社と建築会社の社員からデザインコンセプトなどの説明を受けた。参加者は担当者の話に熱心に耳を傾けていた。

平成25年9月27日付 福島民報社

東京国体 ボウリング成年団体男子2位 大塚選手

成年団体 男子2位、女子8位

◆ボウリング
▽成年女子団体(4人チーム) 決勝(6ゲーム) ①千葉4974点 ②大会新選2560点、決勝1954点
▽成年男子団体(4人チーム) 決勝(6ゲーム) ①高橋4877点 ②石塚4886点、決勝2421点、決勝2553点、鈴木5999点、露出600点、在司631点、向谷633点、福島4580点、選2560点、決勝1954点

7年ぶりの大躍進 男子



ボウリング成年男子団体(4人チーム)で2位に輝いた本県チームの(前列左から)伊藤、中田(後列左から)大塚、林

は「去年の悔しさをバネに、今年こそ優勝を目指して頑張りたい」と意気込みを述べた。中田は、若手とベテランの組み合わせで、最高の雰囲気の中で試合ができた。表彰台に上る目標も達成できた」と喜びを語った。

全国大会で多く使用されるプラスチックレーンに対応するため、8月ごろからいわき市のタイラボウルを使用したという。

ボウリング成年男子団体(4人チーム)で2位に輝いた本県チームの(前列左から)伊藤、中田(後列左から)大塚、林

ボウリング成年男子団体(4人チーム)で2位に輝いた本県チームの(前列左から)伊藤、中田(後列左から)大塚、林

ボウリング成年男子団体(4人チーム)で2位に輝いた本県チームの(前列左から)伊藤、中田(後列左から)大塚、林

平成25年10月4日付 福島民報社

REPORT & MESSAGE

今年度受賞・活躍された方々

応援団激励のエール

古里のマチ 安全守る

若松署管内「全国地域運動」出動式



期間中の積極的な活動を誓った参加者

会津工業高 応援団 激励のエール
会津若松署管内の全式は十日、会津若松市国地域安全運動の出動のふれあい体育館で行われた。応援団のエールが期間中の積極的な活動を後押しした。

同署や防犯団体の関係者ら約二百人が参加した。会津若松地区防犯協会連合会長の室井照平市長が「安全は自分で守る意識を持ち、活動に努める」とあいさつ。金子哲也署長は「自助共助の理念に基づき、自主防犯活動を展開してほしい」と述べた。



参加者にエールを送った会津工業高の生徒
済まし詐欺の未然防止を呼び掛けた。
参加者は二十日までの期間中、それぞれの地域で防犯パトロールなどを展開する。

会津工業高応援委員会の生徒二十二人が登壇し、活動に臨むボランティアたちにエールを送った。佐藤友貴団長（三年）が「地域の安全は地域で守る」と決意で活動します」とする地域安全宣言を読み上げた。千葉正元会津若松地区防犯指導隊長が出動を宣言した。

この後、参加者はリオン・ドール滝沢店に移動し、万引きや成り

平成25年10月12日付 福島民報社

会工三種の神器

教頭 山野 敏 (昭49G卒)



会津工業高校同窓会の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご協力とご支援を頂きましてありがとうございます。

昨年度は、創立110周年記念式典では大変お世話になりました。同窓生に皆様のご協力で成功裡に終ることができました。この場をお借りして感謝申し上げます。

今年は、新機械科実習棟が12月に竣工予定になっています。また、本館・南1棟・北2棟・北3棟の耐震工事・改修工事が、今年から3年計画で行われます。常に、工事の音が響き渡る環境のもとで生徒たちは、ものづくり人財になるための教育を受けています。

創立110周年記念祝賀会席上では、熊田元校長の力を借りながら応援歌「鶏鳴三度」を四番まで熱唱し式典が終わりました。また、今年6月に東海会・工総会に出席した時にも、応援歌「鶏鳴三度」を四番まで熱唱していました。記憶違いでなければ、私が母校に在籍していたときは、応援歌「鶏鳴三度」は二番までしか歌わなかったように記憶しています。

同窓生の方が、会工を振り返るとき、校歌、頑張れ応援歌、応援歌鶏鳴三度は、「会工三種の神器」かもしれません。これからは、生徒に応援歌「鶏鳴三度」を四番まで熱唱できるようにしたいと思っています。このことが、会津工業高校の伝統を引き継ぐ新たな1ページになるのではないかと思います。



進路指導部から

主任 大塚 正幸



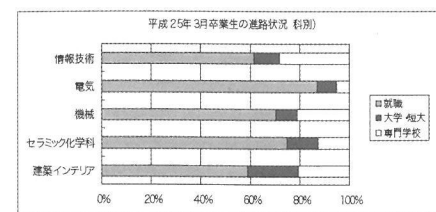
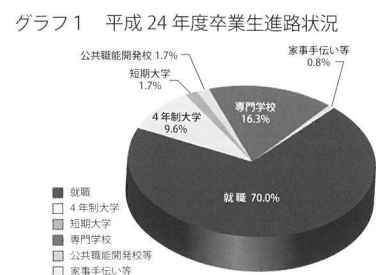
全国の会工同窓生の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のことと存じます。また、本校の教育活動に日頃よりご支援をいただき誠にありが

とうございます。

さて、震災から2年目の平成24年度の本校の進路状況は、就職者が70%、進学者が30%という結果でありました。センター試験受験者を含め3月中には、内定もしくは合格を頂くことができ、卒業生の希望進路実現にほぼ迫ることができました。これは、生徒一人一人が目標を持って進路に望んだ成果であると思われま

平成24年度の進路決定状況をグラフ1に、学科別進路内訳をグラフ2に示します。

グラフ1 平成24年度進路決定状況



平成25年3月卒業生の進路状況 (科別)

就職者の合計は168名でした。(このうち民間就職内定者が県内89名、県外74名の163名、公務員5名)。全体の70%が就職したのは、この10年間で一番多い就職割合となりました。また、24年度の求人件数は672件で、23年度の670件とほぼ同じ受付件数でした。24年度の特徴としては、福島県の震災復興事業により製造業が好調であったことと建設業関係が例年よりも求人が提出されていたことにより例年よりも県内に就職したものが増えたことによります。また、大学等に進学してから、就職することが難しくなっている現状を踏まえ、早い段階で希望した職につけることを願っているようです。

さらには、県内外の各企業で多くの同窓生の皆様が活躍されているという実績と、本校の教育活動にご理解をいただいている各企業より、ぜひ工業高校生を採用したいという要望があることから、会工卒という望まれた状況で就職したいと考えているようです。

進学者の合計は70名でした。その内訳は、大学・短大が27名、専門学校進学が43名というものでした。24年度の特徴としては、大学進学者の多くは、工業系の学部に進んでおり、工業高校で学んだスキルを向上させ、将来的に専門性を活かした企業への就職を考えているようです。また、指定校推薦で進学する生徒が多い中、センター試験を利用し国公立にも挑戦し、日々の努力をして見事に合格した生徒もいました。専門学校進学者は、工業系の他に医療系の専門学校に進学する生徒が多かったようである。特に、看護系専門学校には、6名の生徒が進学しました。このように目標をしっかりと見据え、資格などが取得できる、卒業後の進路を考えた実務的な進学が多かったのが特徴です。

25年度新入生

1学年主任 滝沢 全

昨年110周年を迎えた伝統ある会津工業に、新たに240名の新入生が加わりました。同窓諸先輩と比べると何とも頼りない面々ではありますが、これから三年間の会津工業での生活が彼らを逞しく成長させてくれるでしょう。

合格発表の掲示板で自分の受験番号を満面の笑みで確認した彼らは、少し緊張した様子で会工の門をくぐり、3年間生活を共にする新しい仲間と出会いました。そして、彼らが迎えた最初の試験は校歌応援歌練習です。まだ右も左も分からない彼らに、応援団の歌声が響きます。裸足で体育館に集められ、校歌と応援歌の練習が始まりました。ろくに歌詞も覚えていない彼らがいきなり歌えるわけがありません。「声が小さい」「応援団の気合いが入ります」「前に出る」「歌えないやつはステージ前に立たされます。4日間懸命に歌いました。いくら大きな声を出しても「声が小さい」と怒鳴られる理不尽に耐え、4日目には体育館全体に響き渡るような校歌を歌えました。校歌を声高らかに歌えるのが会工生の良いところです。これでやっと会工生の一員になることができたみたいです。

今、入学から3ヶ月が過ぎ、すっかり会工にも慣れ楽しそうに学校生活を送っています。勉強や部活動も頑張っていますが、まだまだ先輩には敵いません。第1回の校内漢字テストでは、1年生の6クラスで下位をほぼ独占してしまいました。部活の練習もまだまだ上級生について行けません。運動部に入学しすぐにやめてしまった生徒もいます。しかし、学校生活を通して資格に挑戦したり、一生懸命練習し大会で活躍をしたり、頑張りが見えてきました。それぞれが目標を持ち高校生活を有意義に送り、伝統ある会津工業の同窓生の一員として恥ずかしいような卒業生になってくれればと思います。

同窓諸先輩方の応援をよろしくお願いします。

中だるみ？最も大切な学年

2学年主任 清水 裕二

よく高校二年生は「中だるみ」の学年と言われます。進路を目前にした三年生や中学校とは違う環境で生活しなければならぬ一年生に比べるとどうしても緊張感が足りなくなってしまうようです。実際に服装や頭髮の乱れが顕著になったり、学習に身が入らず成績を悪化させてしまう生徒も見られます。

しかし本当にそんな状態で過ごしてしまっているのでしょうか。もちろん答えは否です。進路活動の時期から逆算してみると、高校二年生の夏休みは就職試験までわずか一年二ヶ月です。大学受験を見ても同様です。本校のほとんどの生徒は推薦で大学を受験します。AO入試などは夏休み直後から始まります。公務員試験も受験する種類によっては一年を切るものまであります。ばやばやしているとすぐに進路活動の時期になってしまいます。

現在

3学年 村山 彰一

今年の三年生は、あの東日本大震災の年に入学をしました。世間が大混乱の中、ようやく入学式が行われたのが4月半ば、様々な対応におられる中の式でした。大規模な災害から家庭や仲間との「絆」を強く感じながらのスタートでした。

それから早三年が過ぎ、生徒諸君は自分の夢を叶えるべく進路活動に熱心に取り組んでいます。昨年度のような災害を考慮した求人はありませんが、一部景気向上の波もあり、例年に比べて求人数は増加傾向にあります。

しかし、「工業高校だから合格」という保証は全くなく実力が問われるのも事実です。いかに実力をつけてい

では、いつから進路のに向けた取り組みをしなければならぬのでしょうか。それはまさに「今でしょ」です。本校の二年生の進路講話でお話しいただいたベネッセコーポレーションの資料を参考にすると、大学入試や就職試験への取り組み時期と合格率はリンクしており、二年生の1学期から始めた生徒は90%、2学期から始めた生徒は85%、3学期では65%、三年の1学期では37%、2学期では24%の合格率となっています。つまり、早い時期に目標を設定して努力した生徒の合格率が良くなっているのです。本校は部活動も盛んで各部活ともかなり遅くまで練習をしています。勉強との両立はかなり厳しいものですが、目標を持てば、電車の中や始業時間より一時間程度早く来て勉強するなど、工夫をして頑張れるはずです。実は二年生をいかに過すかが進路にとって大変重要になってくるのです。自分の人生ですから自分で切り開くしかありません。自分の未来を見据えて今から頑張ってください。

くか、大きなポイントです。基礎学力の定着・人としてなすべき姿勢、学年での対応だけでは不足であり、全職員・同窓会、PTAの協力を得ながらその改善に努めています。「明るく元気で、会った人が笑顔になれるような生徒になること」を目標に、生徒たちは精一杯の努力をしているところです。

この会報が同窓会の皆様方に届く頃には就職進学戦線も終盤を迎えていることでしょう。生徒諸君は皆様方同様社会で活躍できるよう取り組んでいます。どうぞご支援をお願いします。

最後に、同窓会の皆様も是非求人にご協力をお願いします。

本校の耐震化工事の現況について

事務長 伊藤 望

会津工業高校同窓会の皆様には、日頃から本校の教育活動にご協力とご支援をいただき、感謝申し上げます。事務から、本校の耐震化工事の現況についてご報告します。

福島県では、地震時における生徒等の安全を確保するとともに、地域の避難所としての役割を担うために、「県立学校施設の耐震化年次計画」を策定し、平成27年度を目標に整備を図っています。

本校校舎の耐震評価は、建築年度が古く建て替えが必要なものから、新耐震基準に基づき設計されているために耐震化工事の必要のないものまで、いくつかのランクに分かれており、ランクに応じ、建て替えや大規模改造工事、耐震化工事を行っています。

○主な建物の耐震評価と改修計画

建 物	建築年度	耐震評価 (ランク)	工事 (予定)
機械科実習棟 (北2 棟) (通路西側)	S44	D	H24, 25
理科実習棟 (南1棟)	S40	C	H25, 26, 27
建築・機械実習棟 (北3 棟)	S43, 45, 46	C	H26, 27
管理教室棟 (本館)	S42, 43, 53	C	H27
格技場・学生会館	S55, 57	C	H27
機械実習棟 (北2棟) (通路東側)	S44	C	H27
北体育館	S41	A	H20改修済み
北1棟	S44	A	H21改修済み
プラント実習棟	S55	A	H24改修済み
セラミック・インテリア・電子教室棟 (南2棟)	H5	新耐震基準	改修不要
南体育館	H6	新耐震基準	改修不要

※Aランク：震度6～7の大地震で倒壊する危険性が低い

Bランク：倒壊の危険性は低いが施設機能を確保できない恐れがある

Cランク：倒壊する危険性がある、Dランク：倒壊する危険性が高い

○建設中の機械科実習棟 (北2棟) 【本館4階から臨む】

現在、機械科実習棟の建て替えを行っており、今年の12月24日に完成する予定です。平成25年度は、さらに、「理科実習棟 (南1 棟) 耐震化工事 (1 期)」、平成26年度には、「建築機械実習棟 (北3 棟) 大規模改造工事 (1 期)」、「理科実習棟 (南1 棟) 耐震化工事 (2 期)」が予定され、平成27年度には「建築機械実習棟 (北3 棟) 大規模改造工事 (2 期)」、「理科実習棟 (南1 棟) 耐震化工事 (3 期)」、「管理教室棟耐震化工事」、「機械実習棟 (北2 棟)」大規模改造工事」が予定されています。



生徒や職員の皆さんには、教室の移動などでご不便をおかけしていますが、早期に耐震化が図られるよう奮闘中です。

「松江賞」同窓会賞」受賞!!

松江賞



建築インテリア科
吉田 若菜

三年間、いろいろな活動を通して自分なりに成長することができました。その結果、この様な名誉ある賞をいただくことができて本当に嬉しく思います。これから、就職して社会人になるわけですが、会津工業高校で学んだことを存分に生かせるよう、精一杯努めていきたいです。



セラミック化学科
菊地 菜都希

この度、松江賞を受賞できたこと、とても光栄に思います。このような名誉ある賞を受賞できたのは、多くの方の支えがあったからだと思います。ご指導下さった先生方、いつも応援してくれた友達、温かく見守ってくれた家族、たくさんの方々の支えのおかげで、地域の方々みなさんの支えがあったからこそ、私は、自分を高める気持ちを忘れずに、勉強

やその他の活動に励むことができました。3年間、苦しいことや辛いことがたくさんありましたが、最後まであきらめずに、努力を続けてきて良かったと思います。多くの先輩が応援してくださり、希望の進路へ進むことができた。感謝の気持ちを松江賞受賞という形で、支えてくださった方々に伝えることができたこと、とても嬉しく思います。今回の受賞を自信にし、これからも日々邁進する気持ちを忘れないようにしていきます。



電気科
五十嵐 直紀

3年間勉強頑張ってきた良き仲間です。ありがとうございました。



機械科
白井 脩平

学校生活において、誰かと競うためではなく、誰かにほめられるためではなく、後悔したくないがために今までのがんばりが、今までの努力が、この様な賞をいただけることに感謝しております。うれしく思います。



情報技術科
松尾 勝貴

3年間の努力がこのような形で飾ることができてとても嬉しいです。部活動や勉強の両立は楽な事ではありませんが、その中でも、友達やたくさんの思い出を作ることができて、充実した3年間でした。



建築インテリア科
武藤 亜紗子

成果としてこのような賞をいただくことが出来、とてもうれしいです。今後はこの賞に恥じないような生活を心がけていきたいと思っています。ありがとうございました。



機械科二組
小林 繁樹



電気科
本名亮祐



情報技術科
小嶋 祐樹



機械科一組
西村 大夢

3年間、部活と勉強の両立をがんばってきた一つの立役者です。

この3年間、生徒会活動や勉強にはげんできたかいがありました。



平和の覇者を育みぬ。

学び舎



建築インテリア科

主任 長谷沼 徹

平成25年度人事異動により、主任の池上邦彦先生が郡山北工業高校へ、3年生担任で卒業生を出した熊田尚先生が福島工業高校へ、加藤純先生が喜多方桐桜高校へ栄転となりました。代わって、喜多方桐桜高校から菅家慶広先生、二本松工業から黒澤静子先生、郡山北工業高校から長谷沼徹が着任しました。建築インテリア科の職員は、3年生担任の田中哲先生、2年1組担任の鈴木武先生、渡部孝志先生、岩瀬浩先生、高橋弘光先生の8名です。

1年生担任は国語科の湯浅亜紀子先生、2年2組は社会科の今川吉晃先生となりました。生徒数は、1年生40名、2年生78名、3年生38名、合計156名でのスタートとなりました。東日本震災から3年目となりますが、復興もなかなか進まず、先行きが不透明な中、建築インテリア科では、復興の礎として社会

ロケーション

1専門課程は、いま。

に貢献する人材の育成を目標に、日々教育活動を行っています。

しかし、2年生が2クラスの影響で、実習内容の変更を余儀なくされています。例えば、楽しみにしていた生徒も多かったコピーテーブルの製作テーマから立体構成にテーマ変更しました。木造倉庫の製作・建前のテーマから、建前のみの実施となりました。また、現場実習（インターンシップ）も去年は2年生全員が、福島県建設業協会とOBのご協力により10月30日から11月3日の3日間実施しましたが、今年度は2年生78名全員の受入れ先の関係で、将来、建築関係の就職を希望する生徒に限定し、夏季休業中の8月20日（火）から22日（木）までの3日間で行う予定と変更です。来年度は2クラスの進路実現を図るため、例年以上の諸先輩の力をお借りしたいと思います。

私は、教師の初任地が会津工業高校で、十八年振りの会津工業高校勤務となりました。企業訪問をさせて頂いた際、担任した生徒の多くが、地元の建設会社で資格を取得し、中堅社員として立派に活躍しており嬉しく思いました。また、一年生の女子生徒の中に、担任ではありませんでした。教員

子が父親だという生徒もあり、時の流れを感じると同時に、会津工業高校の歴史と伝統は、兄弟、親子、三世代と続き繋がるのだと思えました。

また、同窓生の在校生への期待も大きく、建築科を昭和37年に卒業された、(株)山口設計の代表取締役の山口一男様より建築関係の書籍（建築知識、新建築）の寄贈がありました。日進月歩の建築技術を紹介する「建築知識」、日本を代表する建築物を多くの写真で紹介する「新建築」の過去2年間のバックナンバーとこれから定期的に最新号を届けて頂くことになり、7月8日に3年建築インテリア科の教室で贈呈式が行われました。製図や課題研究の授業で大切に活用させて頂きたいと思えました。その他、昭和29年度建築科卒業の杉本次雄様より「日本の庭園」を寄贈して頂きました。本当にありがとうございました。

最後になりましたが、3年生も担任と共に、進路実現に向けて一生懸命頑張っております。建設業界にとっては、復興といっても先の見えない厳しい社会状況ではありますが、建築が社会に果たす役割の大切さを生徒に伝え、夢と希望が持てる様に職員一丸となつて

校歌から

指導してまいりますので、同窓会の皆様には、今後とも建築インテリア科に対してご支援・ご協力をお願い申し上げます。



(株)山口設計書籍贈呈式の様子



セラミック化学科

主任 村田 光夫

セラミック化学という科名になつて今年で6年目。この3月には、3回目の卒業生を送り出すことができました。地域に密着し、貢献する学科を目指しています。今年、女子の入学生徒が例年に多く、初めて40人定員の過半数を超えて22名の女子が入学してきました。化学の知識をベースに伝統工芸



「ホッキ貝を利用した油滴天目茶碗」セラミック化学科 西村和真

から新素材の分野まで幅広く学習します。地場産業の焼きものの伝統技を受け継ぎながら、フライングセラミックス・ガラス・化学製品全般の知識や技術を学びます。具体的には、茶碗、電子部品、色ガラス、人工骨、リサイクル石けんなどを実際に作り、分析・評価する体験的な学習をしています。

昨年度末に待望の電子顕微鏡が経済同友会様よりご寄付をいただき納入されました。今まで見ることができなかったセラミックスの表面観察に非常に役立っております。

また、昨年の11月には全国セラミックス教育研究会が本校を当番校として開催されました。同窓会からは、顧問の吉田一榮様をはじめ、会長の若狭春生様、セラ友会名誉顧問の坂内茂男様、会長の渡部洋子様の4名が参加され、会を盛り上げていただきました。

●生徒たちの活躍
昨年度末、(公社)日本セラミックス協会主催の2013年協会高等学校生徒セラミック作品展において3年生(当時2年生)の西村和真君が「ホッキ貝を利用した油滴天目茶碗」を出展したところ、見事に最優秀賞をいただきました。この快挙は6月19日付の福島民報、福島民友に大きく掲載されました。また、その他の作品においても会津総合美術展や県総合美術展に出展し、高い評価をいただいております。

陶芸関係の活動ばかりでなく、学習面においても23年度より創設されたセラミック能力検定や陶磁器能力検定は高い合格率を誇っており、生徒たちは合格に向けて日々努力をしています。そのほかの資格(危険物、毒劇物、QC、エコ検定など)におきましても、生徒自ら積極的に受験し、合格しています。

地域貢献活動では、会津美里町で開催されているふれあい茶会や会津本郷せと市、10月末に行われているものづくり学園祭には毎年参加しています。ふれあい茶会では、大沼高校と合同で学生茶会を開き、来場者に今年からできた茶道同好会中心の生徒たちが点てたお茶を飲んでいただきました。今年の会場は、羽黒山(通称本郷山)山頂で行い大変好評でした。毎年、5月の最終日曜日に会津美里町内で開催されていますので同窓生の皆さんもぜひ足を運んでいただきたいと思っています。

夏休みには全国統一陶芸技能検定の実施、8月の第1日曜日に開催される会津本郷せと市には毎年参加しています。また、震災の影響で開催が延期されていた会津美里町商工会主催の「風と土の芸術祭」が9月14日から23日までの10日間開催されます。10月末には、あいづドームで行われる会津ブランドものづくりフェア（ものづくり学園祭）が予定されています。また、冬休みには、一般の方々も受験可能なろくろ技能検定があります。受けて見たいなと思った方は、是非お問い合わせ下さい。このように、たくさん行事がこれからあります。これからもOB諸先輩方のご支援、ご協力をいただきながら進めていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

M

機械科

主任 渡部 哲

今年度の人事異動では、永らく本校の機械科に勤務していただいた丹治一記先生が二本松工業高校に、菊田高史先生が福島工業高校の定時に転出されました。代わって、新採用で由田佳一先生、二本松工業高校から高畑利夫先生、そして、川口芳彦先生の三名が着任され、今年度は十四名のスタッフでスタートすることになりました。

ました。担任は、一年一組益子茂教諭・二年二組齋藤政志教諭・二年一組吉田孝明教諭・二年二組小沼雄司教諭・三年一組益山山教諭・三年二組八巻勤教諭の六名でクラス経営にあたっています。

機械科では「ものづくりは人づくり」を目標に掲げて、生徒の指導にあたっております。当然、学校内では困った時の機械科と重宝され、生徒・教員が、会津工業高校のために頑張っております。昨年度は、東日本大震災の影響も少しやわらぎ、いろいろな意味で復興元年になった年になりましたので、生徒の頑張りを簡単に報告させていただきます。

◆進路について
就職五十七名（内福島県警察一名、四年生大学六名、内山形大学一名、短大一名、専門学校十七名の計八十一名の卒業生で内定率一〇〇％を達成することができました。近年の傾向として、地元就職と県外就職の比率が半々になってきています。

◆各種大会での活躍

- 東北高校生ものづくりコンテスト2012旋盤作業部門第三位（三年一組渡部千秋さん）
- 福島県高校生ものづくりコンテスト2012旋盤作業部門第三位（二年一組多田佳弘君）
- ワールドエコマップ2013（大湯村） 総合三十九位、スピリット賞受賞
- 全国電動カー創作コンテスト2012（山形県庄内町）Aチーム総合六位、Bチーム総合七位

○福島県高校生ロボット競技大会1台出場残念ながら予選敗退
○本田宗一郎杯ホンダエコマイレッジチャレンジ全国大会2012（高校生クラス五十五位、二人乗りクラス四十四位）

◆各種イベントへの参加

○会津ブランドものづくりフェアへの参加・出展
ロボコン・あいつの参加・協力
◆資格取得について
・機械製図検定試験 基礎製図検定試験、ボイラー二級国家試験、危険物取扱者試験、品質管理検定試験、パソコン利用技術検定試験、三級技能検定国家試験、旋盤など、専門分野の資格に多くの生徒が挑戦して、それなりの結果を残しています。従って、ジュニアマイスター顕彰で表彰される生徒も多数でております。

◆その他

・実習棟の解体も年度末に終了し、新築工事も順調に進んでおり、十二月二十四日竣工予定日になっています。来年の一月からは、新しい実習棟への機械の移設を終え、二月からは、新しい工場での授業が出来ることを今から心待ちにしています。また、これに合わせて、新しい機械が三台購入してもらえます。



「解体後の更地」(4月撮影)
「現在の状況」(7月撮影)

E

電気科

主任 井上 浩一

今年度の人事異動により、昨年度まで本校電気科主任として活躍された海和寛先生が喜多方桐高校へ転勤されました。後任として、鳴瀬良先生が喜多方桐高校より着任され、電気科教員は6名であります。

担任の先生方を紹介します。1年担任は滝沢全先生で、担当教科は理科・学年主任であります。2年担任は清水裕先生で、担当教科は社会・学年主任になります。電気科は会津工業高校の要の学科であるため、学年主任が配置されていると思っております。3年担任が楠田古瀬先生で、若手の精鋭であります。

昨年・平成24年度電気科の活動状況をお知らせいたします。

1 就職・進学について

就職希望者34名中、県外企業に21名、県内企業に13名の内定を頂きました。県外から多くの求人を頂いている結果であり、電気科卒業生ならびに同窓生の活躍が本校

への求人につながっていると強く感じております。

進学希望者5名中、4年生大学に2名、短期大学、専門学校、職能開発校に各1名となっております。

2 発電所見学・工場見学

1年生 新潟火力発電所
2年生 新潟火力発電所
住友ゴム(株) 米沢電線(株)
3年生 北芝電機(株)
例年、1年次に発電所見学、2、3年次に工場見学を行っております。昨年度の2年生は、東日本大震災の影響により、一年遅れての発電所見学となりました。

ご協力くださいました企業様に感謝いたします。

3 資格取得について

第2種電気工事士資格試験に、1年生25名、2、3年生8名の33名が合格しました。

昨年末までの電気工事第2種取得率は下記の通りになります。
1年生 62・5% 2年生 89・7% 3年生 92・3%
昨年度より、1年生を対象に4月より資格試験指導に取り組みました。入学時より電気科の生徒として、電気工事における実践力を備えさせたいという思いから、この時期に設定いたしました。生徒たちは、実技講習に意欲的に取り組みました。電気工事課題の出来栄を、生徒同士が互いに評価しあう等、真剣な姿勢を感じることができました。



第二種電気工事士実技講習会の様子

を見通して、学業に部活動に総合的に取り組むことのできる期間設定となりますので、今後とも推奨していく所存です。また、結果が伴わない生徒には、卒業まで継続的に指導していきますので、温かい目でお守りください。

4 コンテストおよび外部行事について

福島県高校生ものづくりコンテスト「電気工事部門」へ代表生徒が参加いたしました。参加した生徒は、電気工事における基本に忠実な技術力を磨くことができ、我々教員も驚く程きれいな出来栄の電気工事配線を行えるようになりました。

会津若松市主催によるものづくり学園祭に、電気部所属の生徒が参加しました。電気絵ロソクの製作体験教室を開催し来場者から大変好評でした。講師役で参加した生徒が、はんだ付け等の製作指導に取り組み、地域への共同活動に貢献しました。

以上が、昨年度の電気科の主な活動状況になります。同窓生の

I

情報技術科

主任 菊地 壽雄

皆様には、今後とも電気科の活動に目を向けていただくと幸いです。また、ご指導ご助力ご助言を頂けると、我々職員ならびに生徒にも励みになると思いますので、気軽にお声かけください。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

創立百十一年目の平成25年度は、新たな陣容で進んでいます。人事異動で転出された渡邊修先生、今野信孝先生、鈴木誠一郎先生、伊藤明子先生に替わって、小関裕一先生、渡邊豊先生、境僚太先生が着任され、教員6名で更なる発展に努力しております。新たな一年生担任には情報技術科の石本智道先生が就きました。現在、全学年で一九名の生徒が本科に在籍しています。

情報技術科も設立されて四半世紀になります。この間、情報技術の分野は目覚ましい発展を続けており、インフラの重要な地位を占めています。各学年で学ぶ内容の厳選や技術指導の向上は絶えず必要です。生徒達は、このような時代の変化に合わせた情報技術の幅広い知識を意識しながら、基礎基本から学習し、生徒自身の自己実現へ向けて取り組んでいます。また、

科内にはインターネットサイトを構築して、自ら学習する環境の整備にも工夫しています。

近年は各種OSを活用した実習や、プログラミング力でもWebコンテンツを企画構築する学習も取り入れています。また、コンピュータ制御技術は、工業技術の一つの柱です。各種マイコンを活用した実習は1年から3年までの総合実習として実施し、各種回路の設計製作など電子技術や通信技術を含めた技能の向上をはかっています。

これらの力は各種検定や資格取得の挑戦に現れ、本年度前期として、ジュニアマイスター顕彰を三名が受けました。又、今年度も課題研究や、課外活動による各種コンテスト、コンクールへの挑戦があり、今後大きな活躍が期待されます。

◆ものづくり大会などへの取組

- ・ジャパンマイコンカーラリー
- ・マイコンラリー
- ・高校生デザイン選手権
- ・ロボコン・あいつ
- ◆資格検定への取組
- ・電気通信工事担任者試験
- ・ITパスポート
- ・基本情報技術者
- ・情報技術検定
- ・パソコン利用技術検定

会工祭

平成24年10月20日・21日

電気科

1-Eシネマ
仮装行列
ラジコンカー
絵ろうそく製作

機械科

生徒作品販売
電動カート展示
販売した物品
前庭を走る機関車トーマス

建築インテリア科

A科パネル展示
茶室「麟閣」展示
麟閣でのお茶会
仮装行列

セラミック化学科

トンボ玉作り体験
葉脈のしおり作り
仮装行列

超伝導実験公開

奮るえや会工の健男児 応援歌から

学び舎 ロケーション ② 2013会工、鍛えの各部

陸上競技部

顧問 ◎宮田 智史

◎滝沢 全

◎神田 美香

陸上競技部は、創意工夫、報告・連絡・相談・確認の徹底を目標に日々努力している。競技力向上はもちろんのこと、人間力の向上を目指して今後も努力を継続していきたい。



バドミントン部

顧問 ◎佐藤 秀希

◎井上 浩一

バドミントン部は、男子20名、女子1名の21名で活動しています。練習内容は、基礎的なトレーニングから技術練習などを主に行っています。部員の中には、バドミントンを小学生から習っている生徒から、高校から始めた生徒まで経験年数はさまざまですが、部員全員で教え合い、励まし合って活動している部活動です。



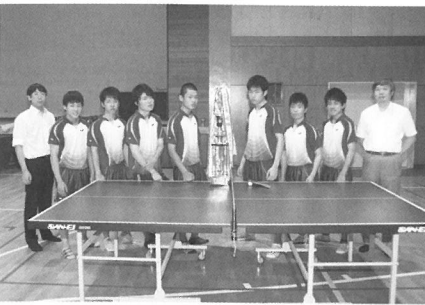
卓球部

顧問 ◎今川 吉晃

◎小林 憲司

卓球部は今川先生、小林先生のご指導のもと二年生一人、一年生三人の合計四人で日々練習に励んでいます。

今年度のインターハイ会津地区大会では十四年ぶりに団体戦で優勝することができました。また個人戦ではシングルス二人、ダブルス三組が県大会に出場しました。これからも、さらに技術の向上を目指し努力していきますので、今後とも応援よろしくお願いします。



野球部

顧問 ◎八巻 勤

◎村山 彰一

◎渡部 孝志

◎小野 裕久

同窓会の皆様には、日頃よりご支援をいただき誠にありがとうございます。

今年度は、62名で活動をスタートしました。春の会津地区予選をはじめ地区大会は全て優勝したものの、春の県大会・夏の選手権としようような結果が残せずに悔し涙を流して三年生は引退しました。その悔しい思いを胸に一二年生44名で新チームがスタートし、夏の厳しい練習をチームが一体となって乗り越え成長し、先日第65回秋季東北地区高等学校野球福島県大会においてベスト4という結果を残すことができました。東北大会に出場できなかったことは非常に悔しいですが、現時点で自分たちに何が足りないのかがはつきり見えたと大会となりました。これから長い冬が始まりますが、来年の夏の選手権に向けて成長できるように全力で努力しますので、今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



サッカー部

顧問 ◎江本 城幸

◎高野美早紀

◎小関 裕一

現在福島県サッカーリーグ戦（F1リーグ）において3位以上を目指すと同時に全国高校サッカー選手権大会初優勝を目指し頑張っています。

夏には遠征や走り込みを通して大きく成長しました。「夢を



かたちに」を合言葉に頑張ります。

体操部

顧問 ◎加藤義勝

◎佐藤文康



山岳部

顧問 ◎川井 勉

◎安達 毅

山岳部は、川井先生、菅家先生のご指導のもと三年生五人、二年生五人、一年生二人の計十二人で毎日練習に取り組んでいます。

活動内容は、四月末に背景山で新人歓迎キャンプを行い山岳というものがどのようなものかを体感し、大会に必要な作業を体験してもらいました。

五月には会津地区大会で、会津駒ヶ岳に行きました。雪が残る大変なコースでしたが部員全員が登頂することができました。六月には県大会で、吾妻連峰に行きました。県大会ということもあり辛く、また天候が変化しコースが変わりましたが、一人一人が臨機応変に対応し良い経験になりました。

七月には今年から取り入れた



水泳部

顧問 ◎小沼 雄司

◎安達 毅

バレーボール部

顧問 ◎鈴木 武

◎益子 茂

◎高畑 利夫

会津高校との合同夏合宿で北アルプスの双六岳、鷲羽岳に行き北アルプスの雄大な眺望を体感し、一人一人がレベルアップできると良い合宿となりました。

九月初旬には尾瀬の燧ヶ岳で会津地区新人登山大会があり一二年生での新チームでしたが新チームにしては良いスタートとなりました。また九月下旬には念願の飯豊山に登りました。

この後も、大会や部の山行で多くの山に登ります。



バスケットボール部

顧問 ◎菊地 壽雄

◎由田 桂一

私たちバスケットボール部は、3年生引退後、2年生6名、1年生6名の十二名で日々の練習に励んでいます。



硬式テニス部

顧問 ◎斎藤 正志

◎大久保 仁

テニス部は、現在2年生11名、1年生11名で活動しています。コートが学校にないため、運動公園や鶴ヶ城のテニスコートで練習しています。



ソフトテニス部

顧問 ◎渡邊 豊

◎玉川 誠

今年度は、17名の新入部員を迎え、総勢28名となりました。会津地区大会での上位入賞はもちろん、県大会でも上位の成績を目標に、日々練習に取り組んでいます。



スキー部

顧問 ◎相原 正裕
◎茂木 利幸

昨シーズンは三年生部員が不在でしたが、アルペン男女（現2年・星将斗、3年・藤田夏南）クロカン男子（現2年・渡部颯）の3名が念願のインターハイ全国大会出場を果たしました。クロカン渡部は国体にも出場し、3名の活躍が会津工業高校スキー部の名を県内外に広めることが出来ました。

今シーズンは、インターハイ全国大会が地元（猪苗代町）で開催されます。福島県の代表選手として全国の精鋭選手と競い合い、インターハイおよび各種大会での表彰台を目指して「夏に泣き、冬に笑え」を合い言葉に、日々トレーニングに励んでいます。



空手部

顧問 ◎境 僚太
清水 裕二
高橋 弘光

現在、空手部は3年生が引退し、1年生6人で活動しています。そのうち5人が高校入学後に空手を始めた初心者です。そのような素人集団ですが、空手経験者の顧問の先生や、月に何度か高田の道場の先生に指導を受け成長し続けています。1年生だけの部活動ですが、6人で一丸となり、日々練習に励み切磋琢磨しています。



剣道部

顧問 ◎田中 哲
吉田 孝明

私達は、日々の稽古に励んでいます。部員は、三年生が引退し男子のみになり、団体戦でなんとかチームが組める状況で

す。しかし、猛暑の中、厳しい稽古を乗り切り各部員に自信が付き始めています。今後も身を正し、目標に向け強い気持ちで精進してまいります。



柔道部

顧問 ◎櫛田 古瀬
◎渡部 哲



弓道部

顧問 ◎黒澤 静子
◎児島 二郎



ボクシング部

顧問 ◎篠原 宏和
小林 毅之

今年度ボクシング部には3年生2名・2年生5名・1年生6名が在籍し、3年生は進路活動中なので現在は2・1年生、計13名活動しています。活動場所は学校内の耐震工事の関係で若松市内にあるウエルネス会津ボクシングセンターで練習させてもらっています。日々の練習は放課後、基礎的なトレーニング・実践的なトレーニングを日替わりで3時間程度、休日は基礎的・実践的トレーニングを4時間位

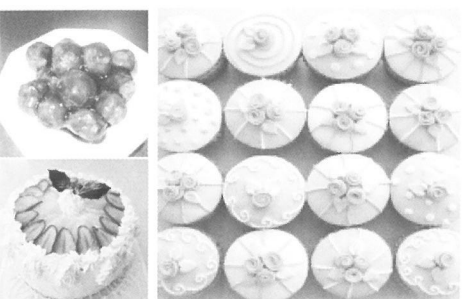


で実施しています。今年度は2年生の奮闘が光り、佐賀県で開催されたインターハイには3名の選手が出場しました。残念ながら結果は2回戦・3回戦で敗退してしまいましたが、2年生でありながら臆することなく堂々と全国大会に臨みました。全国大会では自分達の現在のレベルを知ることができ、次の目標を明確にすることができました。日々の練習では「練習ノート」を作成しながら客観的に自己を捉え、目標を段階的にステップアップさせて励んでいます。また、「練習ノート」を活用し、個々が自発的に練習に臨んでいくことで全

生活科学同好会

顧問 ◎西坂美穂子

実習にはまとまった時間を要するため日頃は計画を練り試験最終日や調理室が使える時にまとめて実習をします。和洋中華何にでも挑戦し、定番の鶏唐揚げや鯖の味噌煮肉団子やケーキまで作ります。最近は食事を作るどころかコンビニでバランス良く選ぶ事さえ出来ない時代に、献立をたて、材料を選び、段取り良く料理をし、楽しく食事をします。ゆる〜い活動に見えますが生活力がつく同好会です。



建築インテリア部

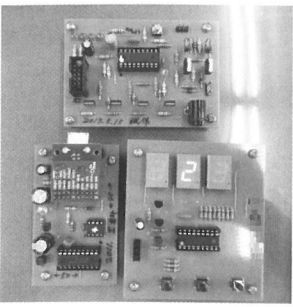
顧問 ◎長谷沼 徹
◎高橋 弘光

建築インテリア部では、主として高校生ものづくりコンテストに向けて練習を行っています。今年は、コンテストの練習を生かし、前期技能検定3級建築大工に4名が合格しました。また、「第2回 福島県民家の甲子園」県大会で優秀賞となり、8月4日（日）に福島県立博物館で開催された、全国大会に参加しました。



電気部

顧問 ◎中野 善司
◎鳴瀬 良

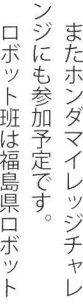


機械研修部



顧問 ◎田中 公雄
◎茂木 利幸
◎高橋 浩二
◎大竹 良宣

本年度も例年同様カート班は本年も秋田の「WEM」、全国電動カート創作コンテストに参加しました。トラブルや天候に悩まされましたが無事完走しています。またホンダマイレージチャレンジにも参加予定です。ロボット班は福島県ロボット



セラミック化学部

顧問 ◎村田 光夫
◎大濱 達明
◎熊田 志郎

今年度、会津総合美術展において青少年奨励賞を受賞したり、昨年度末において開かれた日本セラミックス協会主催の「2013年年度高等学校生徒セラミック作品展」において「ホッキ貝を利用した油滴天目茶碗」を出展したところ見事に最優秀賞をいただくことができました。このほか、地域貢献活動としては、毎年5月のお茶会や、8月のせと市に参加して地元の人たちとの交流を深めています。今年度は、震災の影響で



IT研究部

顧問 ◎石本 智道
◎山本 義文

IT研究部は情報技術科の生徒で構成されていて、毎日放課後プログラミング実習室で活動を行っています。今年度は1人1コンテストに出場し入賞を目指してがんばっています。最近では特に各種ロボコン大会に出場すべ



美術部

顧問 ◎丸山 弘樹
◎岩淵 浩之

「黄金時代」という言葉がありますが、現在の美術部は、まさにそのような状況にあるといえます。今年に入ってからの実績を挙げます。

◎第6十三回全国高等学校シンボルマークデザイン

最優秀賞 2C加藤翔太
優秀賞 2C加藤雄太
ポスターデザイン
最優秀賞・優秀賞
3A岩橋美琴
3A小澤瑠音



[illegible]

男子団体	優勝	渡部 花菜
男子個人	第2位	三橋 笙子
	第3位	風間 由衣
●第59回福島県高等学校 体育大会県大会		
男子団体	優勝	島影 公平
男子個人	優勝	(東北大会出場)
	第2位	矢田部雄人
	第3位	室井 毅大
	第3位	(東北大会出場)
クラブ	優勝	島影 公平
	第2位	矢田部雄人
	第3位	室井 毅大
	第2位	島影 公平
女子個人	第3位	矢田部雄人
	第2位	室井 毅大
	第2位	渡部 花菜
		(東北大会出場)
フープ	優勝	渡部 花菜
リボン	第2位	渡部 花菜
《合道部》		
●第59回福島県高等学校 体育大会会津地区大会		
男子団体	優勝	山本 郁弥
男子個人	第2位	宮下 純一
	第3位	須藤福汰朗
		(県大会出場)
女子個人	第4位	酒井 和希
《バドミントン部》		
●第59回福島県高等学校 体育大会会津地区大会		
男子団体	優勝	太田 徳文
男子シングルス	優勝	川島 尚樹
	第3位	戸田 雅人
男子ダブルス	優勝	太田・雅人組
	第3位	川島・矢部組
	第3位	五十嵐・庄子組

●第59回福島県高等学校 体育大会県大会	男子団体 2回戦	男子シングルス ベスト32 太田 徳文 川島 尚樹	男子ダブルス ベスト32 太田・戸田組 川島・矢部組
●第59回福島県高等学校 体育大会会津地区大会	男子団体 第3位 （五十嵐・滝沢・金田・渡部）	男子個人 第2位 金田 翔太 第2位 長谷川亮太 第3位 滝沢 拓也 第2位 渡部 俊介 第3位 遠藤 悠平 第2位 遠藤 悠平	男子個人 第2位 金田 翔太 第2位 長谷川亮太 第3位 滝沢 拓也 第2位 渡部 俊介 第3位 遠藤 悠平 第2位 遠藤 悠平
●第59回福島県高等学校 体育大会県大会	男子個人 8位 渡部 俊介 （東北大会出場）	女子個人 優勝 高橋真衣子 （東北大会出場）	女子個人 優勝 高橋真衣子 （東北大会出場）
●第59回福島県高等学校 体育大会会津地区大会	男子個人 第3位 （県大会出場）	男子個人 第3位 （県大会出場）	男子個人 第3位 （県大会出場）
●第59回福島県高等学校 体育大会会津地区大会	男子個人 第4位 （県大会出場）	男子個人 第4位 （県大会出場）	男子個人 第4位 （県大会出場）

●第59回福島県高等学校 〈空手部〉 男子団体 組手の部 予選リーグ敗退 男子個人 組手の部 佐藤 秀徳（1回戦） 筑井 晴矢（1回戦） 茂木 輝太（1回戦） 星 浩之（2回戦）	●第59回福島県高等学校 〈山岳部〉 体育大会県大会 会津駒ヶ岳 （主参加部員踏破） ●第59回福島県高等学校 体育大会県大会 吾妻連峰 （主参加部員踏破）	●第59回福島県高等学校 〈ボクシング部〉 体育大会県大会 学校対抗 第1位 フライ級 第1位 菊地 瞭汰 バンタム級 第2位 安部 俊樹 ライト級 第1位 高橋 列 第2位 山谷 慎吾 長谷川 貴	●第59回福島県高等学校 体育大会全国大会 フライ級 2回戦 菊地 瞭汰 バンタム級 3回戦 高橋 列 ライト級 2回戦 山谷 慎吾	●第65回春季東北地区 高校野球会津支部予選 ●第54回春季全会津高等学校 野球選手権大会 ●第65回秋季東北地区 高校野球会津支部予選	優勝 優勝 優勝
--	---	--	--	---	-------------------------------

●第9回福島県高等学校 《陸上部》		体育大会県大会	
200 m	第1位	皆川	涼
棒高跳	第2位	皆川	涼
4×400 m R	第2位	大島	義裕
●第68回東北高等学校陸上競技大会			
100 m	第8位	皆川	涼
●福島県総合体育大会			
少年男子 A	第1位	皆川	涼
100 m			
少年男子 B	第3位	高波	佑樹
110 m ハードル			
●第44回東北陸上競技選手権大会			
300 m 障害	第7位	田中	瑠威
《機械研修部》			
●ワールド・エコノ・ムーブ2013			
オープン・ジュニア総合		大潟大会	
大会本部より	(スピリット賞) 受賞	39位	
●第17回全国電動カートコンテスト			
Aチーム	26周	6位	
Bチーム	15周	8位	
《美術部》			
●第63回全国高等学校スキー大会			
シンボルマーク図案			
最優秀賞(採用)	加藤	翔太	
優秀賞	加藤	翔太	
ボスター原画			
最優秀賞(採用)			
優秀賞	岩橋美琴・小澤瑠音		
	岩橋美琴・小澤瑠音		



私たち演劇部は、三年生が引退し、現在一・二年生の七名で活動しています。春から発声練習等の基礎練習に取り組んできました。また、夏休みからは発声だけでなく、体力づくりにも力を入れていきます。これから演劇部としては一番の大会である秋のコンクールがあります。私たちはそのコンクールに向けて入賞を目指し、今までよりも一層練習に力を入れたいと考えています。人数が少ない分、一人



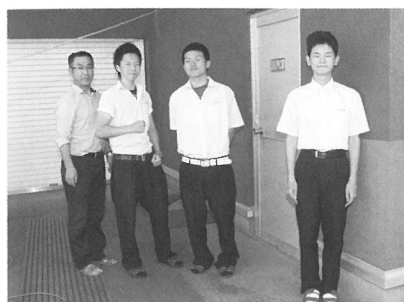
三瓶 實

一人が自覚をもって、お互い助け合いながら舞台をつくっていく
けるよう頑張ります。



また、高文連主催の撮影会へ

最近のアマチュア無線業界は、携帯電話の普及と共に無線を楽しむ人が年々減少傾向であります。本校のアマチュア無線部も例外ではなく、部員が3人と少数の部活になつてしまいました。3人とも免許を持っておらず、まずは電波を発射できるための免許を取得することを目的に活動しています。たまた、無線通信を聞いたりして無線技術の向上を目指しています。諸先輩方でアマチュア無線をやられている方がおられましたら、つながらったときはよろしくお願いいたします。こちらは、JAFV C B会津工業高校アマチュア無線クラブです。



荒井 美絵
今年も新たに多くの新入部員が加えて活動をスタートしました。7月からの吹奏楽コンクールへ、10月下旬の定期演奏会、12月のアンサンブルコンテストに向けて、毎日練習に熱心に取り組んでいます。中には気合が空回りしスベリまくる者も本人は気づかない? もいいますが部員同士の固い絆は相変わらず、笑顔の絶えない楽しいです。



○佐藤 みき



茶道同好会は、今年度から



の先生と楽しくゲームやおしゃべりをして、英語力を身につけています。

今年前半のAＬＴの先生は、オーストラリア出身のロビン先生、後半の先生は、アメリカ出身のローリー先生です。

第1位 皆川 涼

棒高跳	200m	第2位	皆川	源
4×400m R		第1位	大島	義裕
●第68回東北高等学校陸上競技大会	100m	第8位	皆川	涼
●福島県総合体育大会	少年男子 A	第1位	皆川	涼
少年男子 B	100m			
110mハードル	第3位	高波	佑樹	
●第44回東北陸上競技選手権大会	3000m障害	第7位	田中	瑠威
《機械研修部》				
●ワールド・エコノ・ムーブ2013				
オープン・ジュニア総合			大潟大会	
大会本部より	(スピリット賞)	39位	受賞	
●第17回全国電動カートコンテスト	Aチーム	26周	6位	
Bチーム	15周	8位		



新設されました。顧問の佐藤みき先生、茶道裏千家白井玲子、神田恵子先生のご指導のもと、少人数ではありますが、毎回楽しく稽古に励んでいます。

会津美里町での五月二六日の「ふれあい茶会」をはじめ、六月二三日の「あやめ祭り」九月二二、二三日の「風と土の芸術祭」に参加し、お手前を披露し、新聞などでも好評を得ることができました。

これからも、より美味しいお茶を皆様に提供できるように、技術を高めていきたいです。

会工同窓会報No.38
'13(平成25)総会号

昭17M 平20M 平10M 平7M 平元M 昭62M 昭62M 昭61M 昭58M 昭57M 昭57M 昭56M 昭50M 昭49M 昭49M 昭48M 昭48M 昭47M 昭46M 昭45M 昭43M 昭41M 昭41M 昭41M 昭41M 昭41M 昭41M 昭41M 昭40M 昭40M 昭40M 昭40M 昭40M 昭40M

佐藤安雄 長谷川 独鈷 物江 酒井 佐藤 五十嵐 金田 小椋 竹内 星 西田 飯塚 須ヶ間 遠藤 芳賀 五十嵐 佐藤 佐藤 大波 荒川 渡辺 星村 田村 鈴木 栗城 尾崎 五十嵐 渡部 三橋 根本 戸野部 鈴木 大竹

昭28E 昭28E 昭27E 昭27E 昭27E 昭27E 昭27E 昭27E 昭27E 昭27E 昭27E 昭26E 昭26E 昭26E 昭26E 昭26E 昭26E 昭53F 昭53F 昭51F 昭50F 昭48F 昭47F 昭45F 昭42F 昭42F 昭40F 昭40F 昭21M 昭18M 昭17M 昭17M ② ② ③ ② ②

大川原 浅沼 星村 田村 清野 鈴木 鈴木 佐藤 佐藤 栢森 鹿目 板橋 吉田 平塚 佐瀬 指家 管川 小川 江川 中山 高橋 鷺尾 加藤 石黒 小坂 横川 渡部 小部 綿引 本間 金田 長谷川 渡部 二瓶

昭31E 昭31E 昭31E 昭31E 昭31E 昭31E 昭31E 昭31E 昭31E 昭30E 昭30E 昭30E 昭30E 昭30E 昭30E 昭29E 昭29E 昭29E 昭29E 昭29E 昭29E 昭28E 昭28E 昭28E 昭28E 昭28E 昭28E 昭28E 昭28E 昭28E 昭28E

古川 西村 高橋 鈴木 鈴木 鈴木 鈴木 佐藤 佐藤 磯谷 湯田 目黒 星村 中川 武藤 荒明 渡辺 渡部 山口 坂内 永嶺 千葉 高橋 秋山 湯田 山浦 平宮 長谷川 西川 手代木 玉川 高橋 冠忠

昭37E 昭37E 昭37E 昭37E 昭36E 昭36E 昭36E 昭36E 昭36E 昭36E 昭36E 昭35E 昭35E 昭35E 昭35E 昭35E 昭35E 昭34E 昭34E 昭34E 昭34E 昭34E 昭34E 昭33E 昭33E 昭33E 昭33E 昭32E 昭32E 昭32E 昭31E

桑名 菊地 大矢 阿部 弓田 堀木 鈴城 栗沼 菅滝 大井 荒井 古部 福島 野口 成田 五十嵐 山内 宮城 松本 林澤 長澤 川俣 門脇 吉川 野口 木村 大竹 岩沢 五十嵐 渡部 小檜山 大堀 渡部

昭53E 昭51E 昭51E 昭51E 昭50E 昭49E 昭47E 昭45E 昭44E 昭43E 昭43E 昭42E 昭42E 昭41E 昭40E 昭40E 昭40E 昭40E 昭40E 昭39E 昭39E 昭39E 昭39E 昭39E 昭39E 昭38E 昭38E 昭37E 昭37E 昭37E

武藤新次 目黒 皆川 佐々木 豊島 佐藤 関口 皆川 水上 中村 浅田 田中 白石 山下 山内 星部 渡部 星田 藤川 長谷川 鹿目 小沢 大竹 長谷川 芳賀 二瓶 白石 佐藤 石川 五十嵐 阿久津 平野 室井 星重

昭28A 昭28A 昭28A 昭28A 昭26A 昭26A 昭26A 昭25A 昭24A 昭24A 昭20J 平19J 平8D 平6D 平6D 平6D 平4D 平3D 平3D 昭62D 昭61D 昭58D 昭47D 昭47D 昭43D 昭42D 昭42D 昭41D 昭40D 昭40D 昭62E 昭61E 昭60E 昭58E

樽川 小林 上野 青山 真鍋 樋内 関藤 坂藤 遠藤 鈴木 原谷 熊ヶ井 酒部 渡部 小林 小部 渡部 松沼 蓮部 渡村 小堀 影山 浅井 渡部 小部 角田 栗城 芳賀 白井 小椋 白岩 横田

昭25C 昭25C 昭25C 昭25C 昭24C 昭24C 昭24C 昭23C 昭22C 昭22C 昭22C 昭21C 昭20C 昭20C 昭20C 昭20C 昭18C 昭18C 昭17C 昭15C 平17F 平16F 平3K 平2K 平元K 昭63K 昭58K 昭54K 昭54K 昭50K 昭49K 昭49K 昭48K 昭48K

早山 金子 笠間 泉藤 佐藤 左雨 島田 齊藤 日向 小野 大東 佐藤 長嶺 吉田 大竹 岩澤 小林 内堀 小堀 小川 齋藤 渡部 猪俣 猪俣 安孫子 大竹 箭内 藤原 薄村 木野 平野 五十嵐 古川 佐々木

昭34C 昭34C 昭33C 昭33C 昭32C 昭32C 昭31C 昭31C 昭31C 昭31C 昭30C 昭29C 昭28C 昭28C 昭28C 昭28C 昭28C 昭28C 昭27C 昭27C 昭27C 昭27C 昭27C 昭26C 昭26C 昭26C 昭26C 昭25C 昭25C 昭25C 昭25C

三澤 小松 小林 小木 石井 五十嵐 佐藤 齋藤 大堀 大竹 野原 藤沢 藤沢 谷原 野原 佐藤 佐々木 片岡 井関 渡部 宗像 吉田 鈴木 佐竹 大堀 秋山 渡部 長谷川 鈴木 鈴木 佐々木 山内 安井 松田 谷川

昭52C 昭51G 昭50G 昭49G 昭49G 昭48G 昭46G 昭46G 昭46G 昭45G 昭44G 昭44G 昭42G 昭41G 昭41G 昭41G 昭50C 昭49C 昭48C 昭42C 昭42C 昭41C 昭39C 昭39C 昭38C 昭37C 昭37C 昭36C 昭36C 昭35C 昭35C 昭35C 昭35C 昭35C

斎藤 保志 安斎 山斎 大野 古塚 小柴 江川 五十嵐 長崎 大竹 吉原 山中 須藤 坂内 小堀 田部 竹田 要津 青藤 加藤 石田 鈴木 佐藤 佐藤 渡部 小堀 渡部 山内 船田 長谷川 鈴木

昭25M 昭25M 昭25M 昭25M 昭25M 昭25M 昭24M 昭24M 昭23M 昭22M 昭20M 昭20M 昭20M 昭20M 昭20M 昭20M 昭20M 昭18M 昭18M 昭18M 昭18M 昭17M 昭17M 昭16M 昭16M 昭19C 平9C 平62C 昭59C 昭58C 昭53C 昭52C 昭52C

三浦 紺野 菅野 菅家 小川 大竹 五十嵐 小柴 海老名 諸橋 半澤 西田 芝田 小川 八木 国分 中村 星村 高橋 佐藤 安田 中島 五十嵐 秋山 長谷川 山崎 押田 安部 佐藤 小藤 小白 石井 川嶋

昭32M 昭31M 昭31M 昭31M 昭31M 昭30M 昭30M 昭30M 昭30M 昭30M 昭30M 昭29M 昭29M 昭29M 昭29M 昭28M 昭28M 昭28M 昭27M 昭27M 昭27M 昭26M 昭26M 昭26M 昭26M 昭26M 昭26M 昭26M 昭25M 昭25M 昭25M 昭25M

五十嵐 山田 田中 神野 小野 渡部 吉田 花見 佐瀬 齋藤 大場 福島 平塚 木崎 大関 佐藤 金子 玉川 佐藤 橋本 横山 湯浅 秩父 鈴木 新城 新木 五十嵐 五十嵐 藍沢 渡部 渡部 吉田 水野

昭39M 昭39M 昭39M 昭39M 昭38M 昭38M 昭38M 昭38M 昭38M 昭38M 昭37M 昭36M 昭36M 昭35M 昭35M 昭35M 昭35M 昭35M 昭34M 昭34M 昭34M 昭34M 昭34M 昭33M 昭33M 昭33M 昭33M 昭32M 昭32M 昭32M 昭32M

古見 佐藤 大竹 荒川 渡部 千葉 高橋 兼子 佐藤 國分 伊藤 近藤 佐藤 小秦 佐藤 佐藤 大関 細川 玉堀 関川 小林 森和 遠藤 飯東 星和 後藤 柴井 荒井 赤井 山崎 平井 長谷川 中村

地 区	役 職	名 前	卒業年
東 京	会 長	田 中 健 一	4 2 E
	副 会 長	堀 雅 宏	3 6 E
	〃	伊 藤 孝 行	3 8 M
	幹 事 長	戸 野 部 武 彦	4 0 M
	副 幹 事 長	石 綿 弘	3 4 T
	〃	芳 賀 勝 義	3 5 T
	〃	水 上 強 彦	4 6 M
	〃	中 島 政 彦	4 1 G
	会 計 幹 事	鈴 木 邦 男	4 0 M
	〃	山 田 利 廣	4 3 K
	会 計 監 事	辺 見 輝 夫	3 4 K
	〃	渡 部 雅 俊	4 4 M
	常 任 幹 事	小 池 清	3 4 T
	〃	猪 俣 和 男	4 1 T
	〃	五十嵐 清 夫	3 3 K
	〃	渡 辺 満	3 6 K
	〃	齋 藤 博 正	3 7 K
	〃	高 木 博 康	4 4 K
	〃	秋 山 利 光	3 1 C
	〃	内 川 義 則	4 3 E
	〃	伊 藤 龍	3 6 A
東 海	顧 問	佐 瀬 一 信	2 6 E
	名 誉 会 長	星 芳 雄	3 6 E
	会 長	笠 間 忠 英	3 5 A
	副 会 長	中 村 伊 佐 夫	3 0 E
	〃	平 山 充	3 1 T
	〃	羽 入 辰 喜	3 1 A
	〃	浅 沼 定 雄	3 3 K
	〃	鈴 木 力 夫	3 1 T
	〃	酒 井 敏 喜	2 9 E
	〃	星 野 勝	3 1 T
	〃	安 西 正 敏	3 4 M
	〃	村 山 幹 夫	4 1 M
	幹 事 長	三 井 正 春	4 1 A
	副 幹 事 長	古 川 春 樹	4 1 G
	〃	早 川 茂	4 5 A
	会 計	五十嵐 強	4 8 M
	〃	平 栗 民 男	3 0 K
	〃	藤 田 裕 康	4 4 A
	監 査	森 俊 夫	3 5 T
	〃	浅 沼 美 幸	3 2 T
	事 務 局 長	福 地 貞 義	3 1 K
	書 記	石 田 高 志	3 3 T
	〃	遠 藤 素 弘	3 5 T
	総 務 幹 事	渡 辺 雄 三	4 4 M
	〃	佐 藤 勝 美	5 6 M
	〃	安 部 琢 美	5 8 A
	〃	川 島 兵 司	3 4 T
	〃	山 内 憲 三	3 6 T
	〃	小 山 勇	4 0 L
近 畿	名 誉 会 長	渡 部 藤 雄	3 1 E
	相 談 役	長谷川 雅 文	2 6 C
	会 長	大 竹 雅 夫	3 1 C
	副 会 長	石 川 善 一	3 9 E
	〃	遠 藤 進 朗	4 1 K
	事 務 局 長	小 林 清 治	4 3 T
	会 計 監 査	安 達 ヨシ子	3 5 K
	〃	眞 君 雄	3 7 T
	常 務 理 事	荒 井 栄 吉	3 1 T
	〃	細 堀 辰 也	3 4 M
	〃	黒 川 尚 也	2 3 T
	〃	近 藤 芳 弘	2 9 C
	〃	秋 山 善 彦	3 3 K
	〃	信 野 昭	3 5 A

地 区	役 職	名 前	卒業年
近 畿	常 務 理 事	酒 井 衛	3 9 A
	//	大 島 芳 隆	3 6 C
若 松	顧 問	吉 田 一 栄	2 0 K
	//	坂 内 茂 男	3 2 K
	//	若 狭 春 生	3 8 K
	//	藤 田 晴 史	4 0 E
	会 長	山 岸 清 子	4 1 A
	副 会 長	渡 部 洋 一	3 2 K
	//	根 本 一 雄	3 6 E
	//	小 山 源 昭	3 8 A
	//	栗 城 和 夫	4 1 M
	//	白 井 充	4 2 L
	幹 事 長	浅 田 誠	4 3 E
	常 任 幹 事	伊 藤 正	2 5 A
	//	小 林 清	2 8 A
	//	小 林 憲 一	3 1 E
	//	佐 久 間 芳 雄	3 2 A
	//	片 平 寛	3 2 M
	//	佐 藤 松 夫	3 3 K
	//	関 場 一 宏	3 3 K
	//	安 藤 昭 男	3 5 T
	//	田 中 祥 一	3 6 A
	//	佐 藤 義 之	4 2 M
	//	荒 川 富士雄	4 3 M
	幹 事	小 沼 荻 生	2 9 E
	//	渡 部 昭 寿	3 4 E
	//	斎 藤 四 志 男	3 4 K
	//	三 原 敏 男	3 5 M
	//	二 瓶 正 人	3 7 K
	//	弓 田 義 秋	3 9 A
	幹 事	近 藤 信 行	4 0 E
	//	河 野 政 昭	4 3 A
	//	白 井 武 男	4 5 A
	//	風 間 誠 一	4 6 E
	//	坂 内 美 佐 子	5 0 C
	//	菅 原 正 晴	5 1 A
	//	田 勢 光 夫	5 1 A
	//	菊 地 登 貴 雄	5 2 M
	//	渡 部 優 生	5 5 M
	//	藍 澤 弘 幸	5 8 M
	庶 務 事	渡 部 恵 千 子	0 6 D
	監 事	荒 明 正 義	3 0 E
	//	齋 藤 武 司	3 2 K
	会 計	鈴 木 武 司	1 2 A
郡 山	顧 問	荒 井 久	1 8 T
	会 長	金 田 寛	2 1 M
	副 会 長	安 田 久 夫	1 8 M
	//	渡 部 節 夫	1 6 K
	幹 事 長	藤 沼 嘉 典	3 2 T
	会 計 長	佐 藤 亨	3 8 C
	事 務 局 長	菊 井 徹 哉	5 8 D
	事 務 局 長	津 田 進 雄	2 9 K
	幹 事	泉 田 和 清	2 5 C
	//	天 井 一 彦	2 6 C
	//	斎 藤 宣 雄	3 2 C
	//	玉 木 寛 二	3 8 T
	//	渡 辺 寛 治	3 8 C
	//	小 柴 久 勝	2 4 M
	//	福 地 勝	3 0 M
福 島	顧 問	星 二 栄	1 8 M
	//	星 瓶 嘉 祐	3 9 E
	会 長	二 星 武	2 7 E
	副 会 長	細 野 敏 充	3 9 E
	幹 事 長	星 秀 明	4 0 E

地 区	役 職	名 前	卒業年	
福 島	会 計	星 秀 明	4 0 E	
	事 務 局	神 田 信 之	3 1 M	
	常 任 幹 事	佐 藤 実	2 7 E	
	//	小 柴 俊 男	3 4 C	
	//	細 野 敏 充	3 9 E	
坂 下	顧 問	佐 藤 政 利	2 4 L	
	//	江 川 順 一	2 6 E	
	//	大 堀 一 夫	2 7 C	
	会 長	五十嵐 寛	4 3 A	
	副 会 長	佐 藤 隆	2 6 A	
	//	伊 藤 悦 朗	2 9 A	
	//	佐 藤 俊 昭	3 2 K	
	//	高 久 保	3 5 A	
	幹 事 長	梨子本 裕	4 1 K	
	副 幹 事 長	飯 塚 寛	5 2 T	
	幹 事	武 藤 信 之	4 5 C	
	//	安 藤 光 威	4 9 D	
	//	甲 斐 美 保	4 9 A	
	//	鈴 木 秀 之	6 0 A	
	//	長 峯 智 德	H 6 E	
	//	田 中 秀 一	0 6 E	
	監 査	大 島 秀 和	5 1 デ	
	//	中 島 一 傑	5 1 K	
		庶務・会計	梨子本	4 1 K
	猪 苗 代	顧 問	菅 沼 淳 一	3 6 E
会 長		山 口 一 男	3 7 A	
副 会 長		鈴 木 輝 男	3 1 L	
//		江 花 俊 和	3 7 T	
事 務 局 長		江 花 祥 雄	4 9 G	
事 務 局 次 長		吉 田 聡	5 2 A	
幹 事 長		長谷川 与 一	4 0 E	
庶 務		小松山 麻 勲	4 9 A	
計 劃		斎 藤 憲 一郎	4 9 G	
監 査		五十嵐 正義	4 8 M	
	//	古 川 勇	4 8 T	
西 会 津	顧 問	山 本 幸 助	2 7 T	
	会 長	鈴 木 仁	2 1 M	
	副 会 長	小 柴 龍 夫	3 3 M	
	事 務 局 長	飯 沢 義 広	3 1 M	
湯 川	会 長	菅 沼 章 生	2 9 C	
	副 会 長	佐 野 常 雄	3 1 E	
	幹 事 長	佐 野 康 生	3 1 E	
	会 計	星 野 康 一	4 1 M	
会 津 美 里	顧 問	横 山 嘉 夫	2 6 M	
	//	高 羽 芳 満	2 0 K	
	//	渡 部 敬 守	3 0 K	
	会 長	栗 木 俊 昭	4 5 D	
	副 会 長	松 本 誠	3 9 K	
	幹 事 長	荒 井 誠 一	4 9 A	
	幹 事	水 野 俊 彦	3 9 K	
	幹 事	平 野 光 彦	4 0 G	
	幹 事	野 中 寿 勝	5 0 E	
	監 計	兼 子 德 嗣	3 1 A	
	//	木 村 俊 一	4 8 K	
い わ き	会 長	大川原 昌 之	2 8 D	
	副 会 長	上 野 哲	2 8 A	
	//	佐 野 容 昭	3 2 D	
	幹 事 長	梅 宮 昭	3 9 A	
	会 計	矢 沢 行 恵	3 4 A	
	監 事	佐々木 富 一	4 5 A	
建 友 会	顧 問	青 山 昭 一	2 8 A	
	相 談 役	川 崎 正	2 4 A	
	//	佐久間 芳 雄	3 2 A	
	//	石 原 章 男	3 3 A	

[illegible]

二梅小澆齋大本星田早信佐笠五十玉伊石堀澤谷小小飯吉柳成兼大渡角鈴渡杉大
瓶宮林沢藤竹間中川野藤間嵐川藤岡井里津林椋沢川川田子塚部田木部本桃
幸義三紘憲公幸祥健忠昭孝友善清勝厚敏義建武德至道次次房
雄昭明吉征市明一一徹昭司英夫男久正治人生孝昂一宏久求嗣勇司啓利夫雄雄

[illegible]

和村青橋渡鈴小君磯藍倉山佐菊鈴田白松玉石荒渡渡河鈴内鈴白神野山阿高梅
泉井木本部木林島川澤本内藤地木勢井山川本井部辺野木芝木井田村岸部橋宮
健信広恵美一正敏弘浩和和光清雅俊誠幸榮政英良吉武秀光
司義昇晋一保彦彦郎幸二俊満彦昭夫勤治宣光一夫男行二吉雄男雄男清湜寛広



ご協力ありがとうございました
来年もよろしく
お願い致します

昭63分K 昭63分K 昭46分K 昭44分K 昭35分K 昭35分K 昭34分K 昭31分K 昭31分K 昭23併M 昭23併M 昭23併C 昭42S 昭56デ

田室菅中宮星安佐伊古齋藤一八
勢井家村下達藤藤川藤田牛卷
良幸一保英永正弘
房次仁勇久雄隆光正美二洋明子

地 区	役 職	名 前	卒業年	
建 友 会	会 長	小 山 源 昭	3 8 A	
	副 会 長	山 岸 清	4 1 A	
	〃	弓 田 義 秋	3 9 A	
	〃	梅 宮 久 広	4 0 A	
	〃	白 井 武 男	4 5 A	
	事 務 局 長	河 野 政 昭	4 3 A	
	副 事 務 局 長	細 川 博	4 4 A	
	〃	鈴 木 秀 一	5 4 A	
	会 計	菅 原 正 晴	5 1 A	
	副 会 計	菊 地 和 彦	5 5 A	
	監 事	玉 川 敏 彦	4 8 A	
	〃	田 勢 光 夫	5 1 A	
	会 工 友 会	顧 問	栢 森 幸 雄	2 7 E
		〃	手 代 木 徳 夫	2 8 E
〃		山 口 健	2 9 E	
〃		荒 明 正 義	3 0 E	
〃		西 村 一 夫	3 1 E	
〃		根 本 一 雄	3 6 E	
会 長		棚 木 武 夫	3 6 E	
副 会 長		小 沼 岑 生	2 9 E	
〃		鈴 木 安 太 郎	3 1 E	
〃		渡 部 昭 寿	3 4 E	
〃		佐々木 和 郎	3 4 E	
〃		小 池 光 男	3 4 E	
監 事		大川原 史 郎	3 0 E	
〃		佐 野 常 雄	3 1 E	
事 務 局 長		近 藤 信 行	4 0 E	
会 計				
庶 務		菊 地 良 三	3 7 E	

地 区	役 職	名 前	卒業年
機 友 会	顧 問	片 平 寛	3 2 M
	会 長	栗 城 和 夫	4 1 M
	副 会 長	佐 藤 義 之	4 2 M
	〃	渡 部 重 三	4 2 M
	会 計 監 査	本 宮 淳 一	3 2 M
	〃	渡 部 優 生	5 5 M
	幹 事 長	菊 地 登 貴 雄	5 2 M
	常 任 幹 事	平 山 恒 雄	3 3 M
	〃	横 山 牧 雄	4 5 M
	〃	武 田 芳 仁	4 7 M
	会 計	荒 川 富 士 雄	4 3 M
	事 務 局 長	森 田 哲 郎	5 5 M
	事 務 局	玉 川 誠	4 7 M
	〃	渡 部 哲 哉	5 2 M
	〃	鴫 巢 幸 江	5 8 M
セ ラ 友 会	名 誉 顧 問	吉 田 一 榮	2 0 K
	〃	坂 内 茂 男	3 2 K
	〃	坂 場 恒 雄	3 4 K
	顧 問	高 羽 芳 満	2 0 K
	〃	橋 本 英 雄	2 1 K
	〃	石 井 久 夫	2 9 K
	〃	津 田 進	2 9 K
	〃	佐 藤 松 夫	3 3 K
	〃	斎 藤 四 志 男	3 4 K
	会 長	渡 部 洋 子	3 2 K
	副 会 長	佐 藤 悦 朗	3 2 K
	〃	関 場 一 宏	3 3 K
	〃	浅 沼 定 雄	3 3 K
	〃	荒 井 士 郎	3 4 K

地 区	役 職	名 前	卒 業 年
セラ友会	幹 事 長	二 瓶 正 人	3 7 K
	副 幹 事 長	齋 藤 司	3 2 K
	会 計	島 影 孝 敬	2 9 K
	//	梨子本 傑	4 1 K
	監 事	板 垣 正 宏	3 5 K
	//	岩 澤 伸 夫	4 1 K
	事 務 局 長	梨子本 傑	4 1 K
	事 務 局	大 濱 達 明	5 5 K
会 工 美 修 会	顧 問	片 桐 進 一	3 1 L
	//	江 花 光 泰	3 1 L
	//	白 井 充	4 2 L
	会 長	曾 根 賢 治	3 6 L
	副 会 長	儀 同 哲 夫	4 1 L
	//	佐 藤 勉	5 5 L
	会 計	坂 内 憲 勝	5 1 L
	//	岩 淵 浩 一	5 4 L
	幹 事 長	星 田 敏 夫	4 1 L
	事 務 局	渡 部 孝 雄	4 1 L
日 立	代 表	五十嵐 慧 夫	2 6 M
日曹金属	//	大 堀 祐 司	4 8 E
昭和電工	//	山 口 義 喜	4 6 E
三菱製鋼	//	古 川 義 雄	4 8 K
三菱伸銅	//	番 場 幸 雄	4 9 C
東京電力	担 当	土 井 淳	H 7 E

(平成 25 年 9 月現在)

会工同窓会本部役員

平成25年9月現在

顧問	吉田一榮 20 K 本部選出	藤沼嘉典 32 T 郡山会工会幹事長
会長	若狭春生 38 K 本部選出	梅宮 昭 39 A いわき会工会幹事長
筆頭副会長	藤田晴史 40 E 本部選出	星 秀明 40 E 福島会工会幹事長
副会長	田中健一 40 E 東京会工会会長	梨子本傑 41 K 坂下会工会幹事長
幹事長	栗城和夫 41 M 機友会会長	長谷川与一 40 E 猪苗代会工会幹事長
幹事	木村洋一 50 K 本部選出	小島淳一 41 M 西会津会工会幹事長
副幹事長	荒川富士雄 43 M 本部選出・会報編集委員	佐野常雄 31 E 湯川会工会幹事長
	浅田 誠 43 E 本部選出	荒井誠一 49 A 会津美里会工会幹事長
	佐藤 満 56 A 本部選出	鈴木安太郎 31 E 会工電友会幹事長
幹事	江花光泰 31 L 本部選出・会報編集委員	菊地登貴雄 52 M 機友会幹事長
	小林憲一 31 E 本部選出	二瓶正人 37 K セラ友会幹事長
	佐藤松夫 33 K 本部選出	儀同哲夫 41 L 会工美修会副会長
	渡部昭寿 34 E 本部選出・会報編集委員	五十嵐慧夫 26 M 日立会工会会長
	齋藤四志男 34 K 本部選出	番場幸雄 49 C 三菱伸銅(株)会工会長
	安藤昭男 35 T 本部選出	山口栄喜 46 E 昭和電工(株)会工会長
	長谷川利彦 41 K 本部選出	田部一徳 48 C 日曹金属化学(株)会工会長
	佐藤義之 42 M 本部選出	土井 淳平 E 東京電力(株)猪苗代会工会長
	菊地寿雄 48 D 本部選出	岩淵浩之 54 L 事務局
	武田芳仁 47 M 本部選出	中丸 淳 55 K 事務局
	野中寿勝 50 E 本部選出	西村一夫 31 E 本部選出
	長尾好章 50 T 本部選出	坂内茂男 32 K 本部選出
	坂内美佐子 50 C 本部選出	関場一宏 33 K 本部選出
	菅原正晴 51 A 本部選出	山岸 清 41 A 若松会工会会長
	田勢光夫 51 A 本部選出・会報編集委員	荒井士郎 34 K 東京会工会副会長
	五十嵐雄一 53 K 本部選出	笠間忠英 35 A 東京会工会会長
	渡部優生 55 M 本部選出	大竹文夫 31 C 近畿会工会会長
	渡部恵子 平 D 本部選出	金田 寛 21 M 郡山会工会会長
	戸野部武彦 40 M 東京会工会幹事長	二瓶嘉人 39 E 福島会工会会長
	三井正春 41 A 東海会工会幹事長	星 武 27 E 福島会工会副会長
	小林清治 43 T 近畿会工会幹事長	大川原昌之 28 E いわき会工会会長
	近藤信行 40 E 電友会事務局長	五十嵐一夫 43 A 坂下会工会会長

事務局

山口一男 37 A 猪苗代会工会会長	鈴木 仁 21 M 西会津会工会会長
大堀順一 27 C 坂下会工会副会長	菅沼章生 29 C 湯川会工会会長
横山嘉夫 26 M 会津美里会工会副会長	栗木俊昭 45 D 会津美里会工会会長
小山源昭 38 A 建友会会長	手代木徳夫 28 E 会工電友会元会長
根本一雄 36 E 会工電友会副会長	棚木武夫 36 E 会工電友会会長
渡部洋子 32 K セラ友会会長	曾根賢治 36 L 会工美修会会長
菊地寿雄 48 D 事務局長	玉川 誠 47 M 会報編集委員
渡部 哲 52 M	岩淵浩之 54 L
中丸 淳 55 K	大濱達明 55 K 会報編集委員
加藤義勝 56 L 会報編集委員	田中 哲平 4 in
鈴木 武平 12 A	小林毅之平 12 M
山野 敏 49 G 本校教頭	



次回平成26年度総会は10月の第3土曜日に開催していますので、是非ご参加ください！

編集後記

昨年は創立110周年記念式典も皆様方のご支援のもと無事成功裏に終えることができ、また、今年は松江春次翁記念館の建設が、大勢の方々の協力で完成することができました。ぜひ見学に来てください。

同窓生の皆様の活躍も素晴らしく、ここ4年ほどで3名の叙勲受賞者がありました。私たち同窓生にとっても喜ばしいことであり誇りでもあります。

さて、この会報が今回11月1日付けの発行となり、会員の皆様に、今年10月19日に開催した総会の報告が出来る様になりました。

この会報は、皆様の原稿が頼りです。これから内容を充実するよう努力していきますので今度とも、よろしくご協力お願いいたします。

尚…本会の総会は10月の第3土曜日に開催していますので、是非ご参加ください！

同窓会会報編集委員

荒川富士雄 (昭43 M卒)	江花光泰 (昭31 L卒)	渡部昭寿 (昭34 E卒)	玉川 誠 (昭47 M卒)	木村 洋一 (昭50 K卒)	田勢光夫 (昭51 A卒)	大濱達明 (昭55 K卒)	加藤義勝 (昭56 L卒)
----------------	---------------	---------------	---------------	----------------	---------------	---------------	---------------